輪島市
まち・ひと・しごと創生
総合戦略

―“あい”の風がはぐくむ 快適・活気・夢のまち―

平成 27 年 10 月

令和 2 年 3 月(改訂)

輪島市

目次

１．輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方…… 1
（１）国が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係…… 1
（２）輪島市総合計画との関係…… 2
（３）輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定までの流れ…… 3
（４）輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる諸施策の取組方針…… 3
（５）政策目標と評価・検証について…… 4
（６）輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しについて…… 4
２．輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子…… 5
３．2020 年のまち・ひと・しごと創生総合戦略／重点事業・正の循環図…… 6
４．本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」施策一覧および具体的施策…… 7

※本市の現況を示す統計データの分析結果…… 30
（１）人口動態に関わる統計データ…… 30
（２）漁業の状況…… 31
（３）製造業の状況…… 35
（４）輪島塗の状況…… 37
（５）観光産業の状況…… 39
※市の(観光)資源の概要…… 45
※本市が行っている主な起業・移住定住・子育て支援策…… 52
※輪島市創生総合戦略推進審議会条例…… 55
※輪島市創生総合戦略推進審議会委員名簿…… 56

１．輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方

（１）国が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

平成 26 年 12 月 27 日に国が「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(国の長期ビジョン)」及び今後 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、まち・ひと・しごと創生に総合的に取り組むこととしています。また同日に、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について通知が行われ(閣副第 979 号)、この度、本市における人口の現状と将来の見通しを示す人口ビジョン及び人口の現状を踏まえて今後 5 か年の目標や基本的方向、具体的な施策を策定することとなりました。

本計画は、国が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しながら、本市における課題や地域特性に合わせた、本市独自の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をまとめたものです。

●国が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

①人口減少と地域経済縮小の克服

・地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥る可能性が高い。

・人口減少克服・地方創生のためには、3 つの基本的視点から取り組むことが重要

a)「東京一極集中」の是正

b)若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現

c)地域の特性に即した地域課題の解決

②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

a)しごとの創生

・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。「しごとの創生」

b)ひとの創生

・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する。

・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

c)まちの創生

・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏の各地域の特性に即して課題を解決する。

●国が掲げる「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

①自立性

構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながるものであるようにする。

②将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

③地域性

各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実情分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。

④直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。地方公共団体に限らず、住民代表に加え、産業界・大学・金融機関・労働団体の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。

⑤結果重視

明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

（２）輪島市総合計画との関係

本市では、平成19年から平成28年度を目標年次とする第1次輪島市総合計画を策定しており、変革期を迎えた社会経済情勢に対するさまざまな施策を実施してきました。

今回、国は総合戦略において以下の4つの政策分野を掲げています。

①地方における安定した雇用を創出する

②地方への新しい人の流れをつくる

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

これらの政策分野の重要性については、本市としてはこれまでその重要性を認識し、総合計画等の諸施策として具体的に取り組んできたところです。

したがって、この総合戦略でもその基本的な取り組みを継承し、より成果を求める努力をしていきます。

（３）輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定までの流れ

①組織

輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けて、

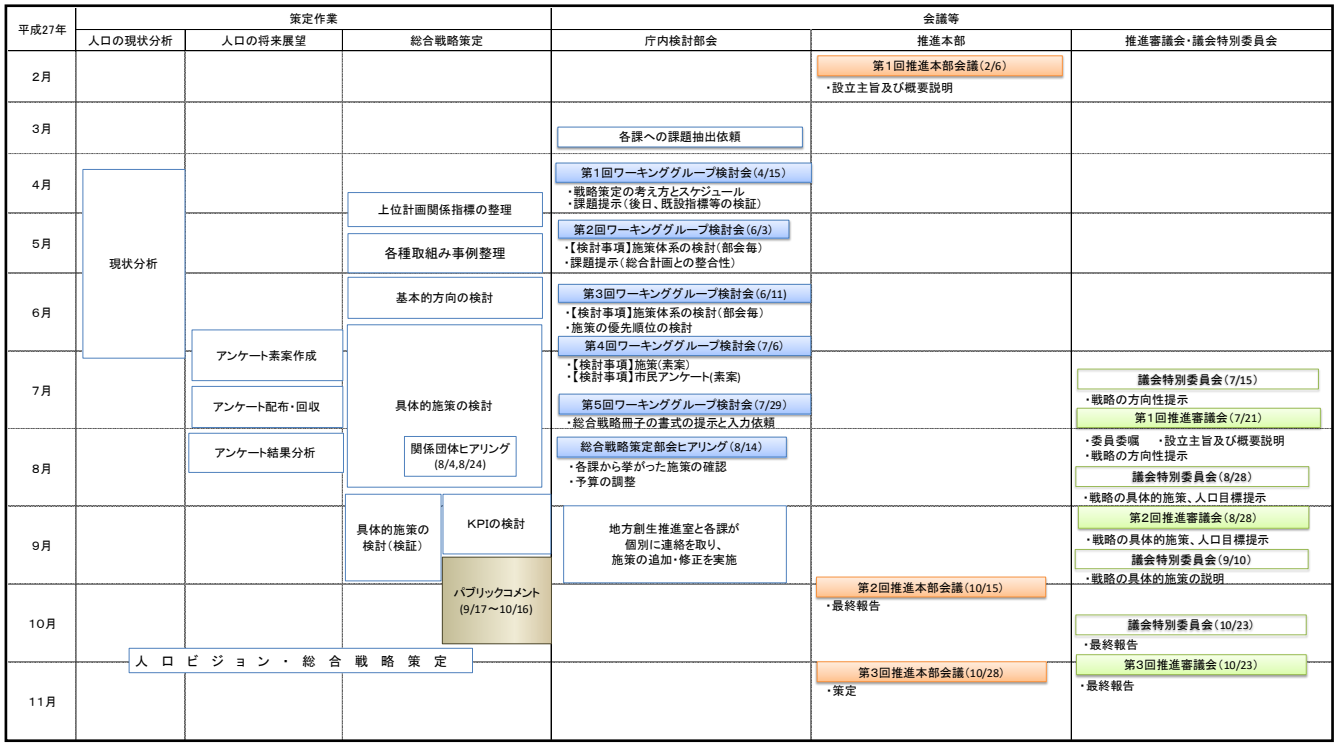
・各課実務担当者で構成される輪島市創生総合戦略策定ワーキンググループ
（総合戦略策定部会・産業振興部会・少子化対策部会の３部会で構成）

・部課長で構成される輪島市創生総合戦略推進本部

・産官学金労等それぞれの学識経験者で構成される輪島市創生総合戦略推進審議会

を組織し、実務担当者からボトムアップで施策が策定される仕組みを構築しました。

②策定の経過



（４）輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる諸施策の取組方針

官民一体で取り組む

この創生総合戦略で定める諸施策の実施には、官民を挙げた取り組みが欠かせません。また、経済活性化をより高めるためには民間の創意工夫・チャレンジが欠かせません。

従って、市民、事業者、地域及び行政の責務と役割を明らかにし、官民一体となった取り組みを行います。

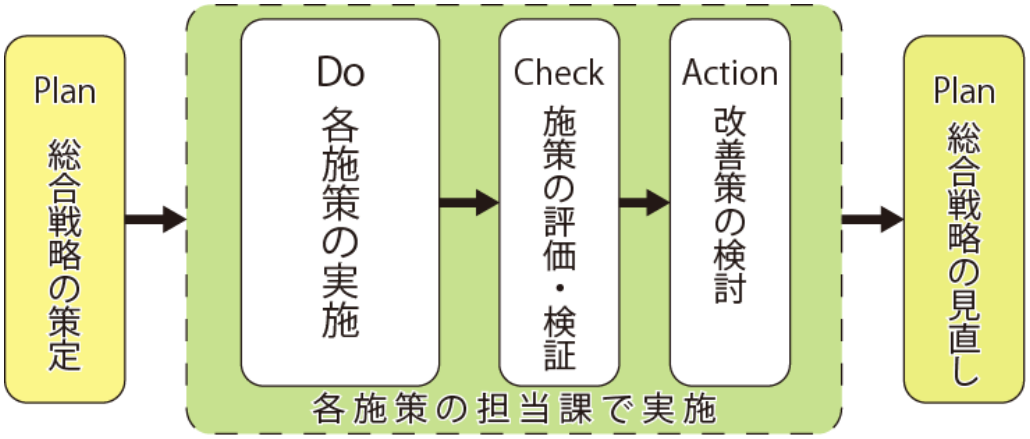
（５）政策目標と評価・検証について

国が掲げる４つの政策分野ごとに基本目標を設定します。また、４つの政策分野毎に具体的な施策グループを設け、そのグループ単位で施策の効果を客観的に検証できる指標である重要業績評価指標(KPI)を設定します。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定後の実績の評価・検証は、PDCA サイクルに基づいて各施策の担当課で定期的に実施することに加え、策定時に組織した輪島市創生総合戦略推進審議会委員など外部有識者の意見を取り入れながら実施します。

※重要業績評価指標(KPI)とは、Key Performance Indicator の略称。地方版総合戦略では、各自治体独自に５年後の基本目標を設定することとなっている。

■　各担当課で行う施策評価フロー　■



（６）輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しについて

重要業績評価指標(KPI)の評価・検証の中で、必要に応じて、随時、見直しを行っていきます。

なお、計画期間は平成 27 年度～31 年度の５年間です。

上記の計画期間については２年延長し、平成 27 年度から令和３年度の７年間とする。
【計画期間延長の理由】
第２次輪島市総合計画（後期計画）策定にあわせ、現行総合戦略と一本化を図るため。

輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子

H27.10.28

■輪島市創生総合戦略の策定に当たり、「豊富な輪島ブランドを活かした市民力による「まち・ひと・しごと」づくり」を施策展開の基軸とし、４つの分野において今後５年間に展開するソフト施策検討の基本方向を定めます。

輪島市の状況分析

弱み

- 都市部からの距離的地理的条件の不利（物流コスト増、進出企業数が少ない）
- 宿泊需要に応じた受入施設数不足
- 第１次産業産品の大量又は安定供給の難しさ（農業や漁業の経営規模が小規模）
- 地元食材に付加価値を付ける工場（産業）が少ない。
- 産業担い手の後継者不足

強み

- 世界農業遺産の里山里海、重要文化的景観、豊かな伝統（輪島朝市、白米千枚田、總持寺祖院、御陣乗太鼓等）
- 相対的に高い合計特殊出生率
- 国内に誇れる漆器産地「輪島塗」
- 新鮮で種類豊富な食材
- ふるさと納税の活性化
- 日本航空学園の立地
- 「能登はやさしや土までも」と称される人情・風土

脅威

- 人口減少と高齢化
- Ｕターンする若者が少ない
- 未婚率の高さ及び結婚年齢の晩婚化

機会

- 北陸新幹線金沢開業（金沢からの誘客促進）
- NHK「まれ」マスコミによる全国区のＰＲ（イメージ向上）
- 訪日外国人客数の増加傾向：H26 現在 1,341 万人、うち、10 回以上のリピーターが１割（「通」の訪日客誘引）
- 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催（新たな市場開拓）

＜強み、機会＞資産、効果、目的
＜弱み、脅威＞課題

施策展開の基軸：豊富な輪島ブランドを活かした市民力による「まち・ひと・しごと」づくり

国の政策分野① 地方における安定した雇用を創出する

1. 輪島の魅力を活かした雇用の創出

●観光産業との連携、支援
・情報発信強化　・観光客受入体制の整備
・魅力ある観光地づくり
●漆器産業との連携、支援
・伝統産業の産業基盤増強　・輪島塗ブランドの発信
・担い手育成
●農林水産業との連携、支援
・輪島ブランド産品の確立　・１次産業の経営安定化
・農林水産業における６次産業化の推進
・農林地の多面的利用促進
●多様な就業環境の創出
・企業誘致の推進　・活力を生む人材の育成と誘致
・ふるさと納税を活用した雇用創出

国の政策分野② 地方への新しいひとの流れをつくる

2. 住みたくなるまちづくり

●移住定住の促進
・移住定住の促進
▽多世代の移住促進（漆の里・生涯活躍のまちづくりプロジェクト等）
▽移住者受入体制の整備（旧輪島合同宿舎の整備、移住相談ワンストップ窓口設置、空き家データベースの充実等）
▽定住促進奨励金（助成制度の充実等）
▽情報発信の強化
●選ばれる地域ブランドづくり
・地域ブランドの展開
▽地域ブランドの浸透（商品開発、高付加価値化への支援等）
▽「輪島の食」のブランド化　▽歴史・文化イベントの開催
▽若い力の活用（協定を結んだ大学との連携事業推進）

国の政策分野③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

3. 結婚・子育ての希望をかなえる環境づくり

●結婚・出産の希望を抱き実現できる環境づくり
・意識の醸成
・出会いの機会創出、後押し
・結婚生活支援
●子育てに温かい環境づくり
・子育て環境の整備充実　・子育て世帯の負担軽減
・子どもの健やかな成長支援
・学校教育の充実
●仕事と生活の調和（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）の実現
・夫婦で子育てできる環境づくり

国の政策分野④ 安心な暮らしを守り、地域を連携する

4. 自然と暮らしを守るまちづくり

●自然の恵みの継承
・里山里海環境の保全
・低炭素地域づくりの普及推進
●安全・安心を高める取り組み
・公共交通機関の維持　・自主防災組織の充実
・住みよいまちづくりの整備促進
●元気に暮らせる環境づくり
・地域医療の確保　・スポーツ活動の推進
・地域の包括的な支援・サービス提供体制の充実
●地域コミュニティ活動の活性化
・地域コミュニティ活動の活性化

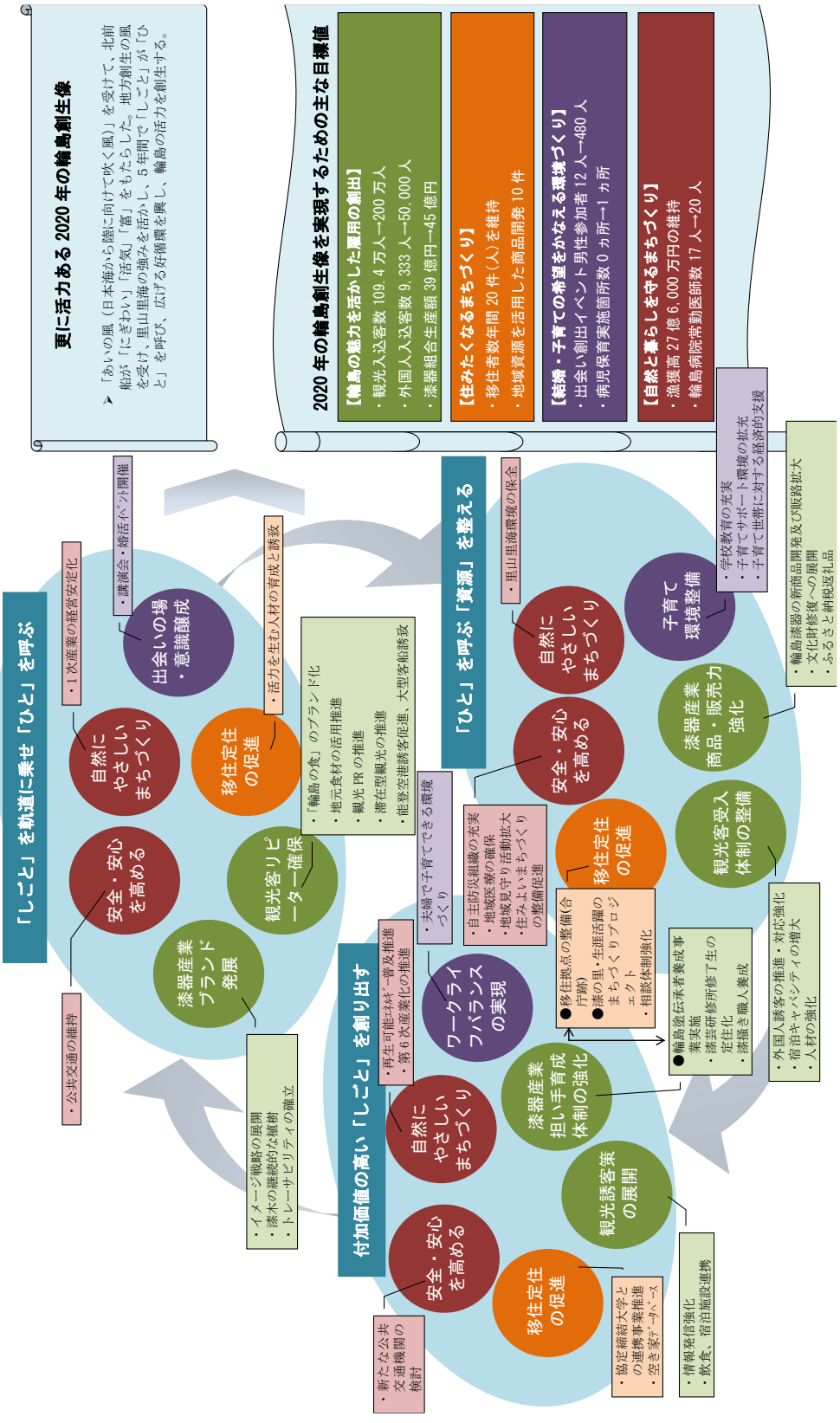
人口減少率の低減（H32 ２６，２０２人　H52 ２５，３１０人）

自立を支援 ／ 夢を持ち前向に ／ 地域の実情 ／ 直接の支援効果 ／ 結果の追及

まち・ひと・しごと創生に関する政策検討の５原則

3．2020 年のまち・ひと・しごと創生総合戦略／重点事業・正の循環図

本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる具体的施策が「まち」・「ひと」・「しごと」に対してどのように作用するかを示すと以下のようになります。



４．本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」施策一覧および具体的施策

まち・ひと・しごとの創生総合戦略の政策パッケージ　１．輪島の魅力を活かした雇用の創出

施策1.観光産業との連携、支援
(1)情報発信強化　　(2)観光客受入体制の整備　　(3)魅力ある観光地づくり

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
観光入込客数	109.4万人	200万人
宿泊客数	16.6万人	25万人
収容人数	2,300人	3,000人
外国人入込客数	9,333人(H26)	50,000人
外国人宿泊客数	1,428人(H26)	8,000人

施策2.漆器産業との連携、支援
(1)伝統産業の産業基盤増強〔生産・品質管理、市場展開〕
(2)輪島塗ブランドの発信　　(3)担い手育成〔人材の確保・育成〕

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
輪島塗生産額	39億円(H26)	45億円

施策3.農林水産業との連携、支援
(1)輪島ブランド産品の確立　　(2)農林水産業における6次産業化の推進
(3)農林地の多面的利用促進〔土地の再生と有効利用〕　　(4) 1次産業の経営安定化

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
おおぞら・町野町 農業協同組合の売上高	22億4,300万円(H26)	22億4,300万円
石川県漁業協同組合 輪島支所・門前支所の売上高	42億円(H26)	44億円
能登森林組合の売上高	9億1,800万円(H26)	9億5,000万円

施策4.多様な就業環境の創出
(1)企業誘致の推進　　(2)活力を生む人材の育成と誘致
(3)ふるさと納税を活用した雇用創出

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
新規出店補助金交付数	－	累計25件

まち・ひと・しごとの創生総合戦略の政策パッケージ　２．住みたくなるまちづくり

施策1.移住定住の促進
(1)移住定住の促進

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
移住定住住宅の整備	－	17室
移住イベントへの参加回数	4回	12回
空き家データベース登録件数	18件	50件
移住者数	20件（人）／年間	60件（人）／年間

施策2.選ばれる地域ブランドづくり
(1)地域ブランドの展開

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
地域資源を活用した商品開発	－	10件
地域リーダー養成講座受講者数	－	50人
地域リーダー認定者	－	5人

まち・ひと・しごとの創生総合戦略の政策パッケージ ３．結婚・子育ての希望をかなえる環境づくり

施策1.結婚・出産の希望を抱き実現できる環境づくり
(1)意識の醸成　(2)出会いの機会創出・後押し　(3)結婚生活支援

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
出会い創出イベント参加者	男性参加 12人 (H27)	男性参加 480人
出会い創出イベント カップル成立数	6組 (H27)	150組

施策2.子育てに温かい環境づくり
(1)子育て環境の整備充実　(2)子育て世帯の負担軽減
(3)子どもの健やかな成長支援　(4)学校教育の充実

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
延長保育実施箇所数	4ヵ所	6ヵ所
病児保育実施箇所数	0ヵ所	1ヵ所
ハイリスク妊婦 ・特定妊婦支援率	8%	100%

施策3.仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現
(1)夫婦で子育てできる環境づくり

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
ワークライフバランス 応援事業所認定	－	10件

まち・ひと・しごとの創生総合戦略の政策パッケージ ４．自然と暮らしを守るまちづくり

施策1.自然の恵みの継承
(1)里山里海環境の保全　(2)低炭素地域づくりの普及推進

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
森林整備の維持	4億4,300万円(H26)	4億4,300万円
漁場環境の保全による 漁獲高の維持	27億6,000万円(H26)	27億6,000万円

施策2.安全・安心を高める取り組み
(1)公共交通機関の維持　(2)自主防災組織の充実　(3)住みよいまちづくりの整備促進

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
自主防災組織率	68.84%(H27)	100%

施策3.元気に暮らせる環境づくり
(1)地域医療の確保　(2)地域の包括的な支援・サービス提供体制の充実
(3)スポーツ活動の推進

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
輪島病院常勤医師数	17人	20人
地域貢献見守り事業者数	74事業者	100事業者
スポーツ指導回数	300回	500回

施策4.地域コミュニティ活動の活性化
(1)地域コミュニティ活動の活性化

【ＫＰＩ】

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
地域コミュニティ団体数	27団体	35団体
地域コミュニティ参加者数	8,511人	10,000人

１．輪島の魅力を活かした雇用の創出

(1)基本目標

〇本市の強みを伸ばす連携と支援

本市には豊かな自然、人々の暮らしの営みがあります。まさに世界農業遺産「能登の里山里海」の中心地であるとも言えます。また、漆の里・禅の里・平家の郷の３つの里（郷）を推進しているところです。この豊かな地域資源や輪島塗に代表されるトップブランド力を関係団体との連携による創意工夫、今日的な付加価値増の取り組みにより雇用の創出につなげる取り組みが必要です。

(2)講ずべき施策に関する基本方向

〇観光産業との連携、支援

本市の有する豊かな自然や文化、暮らし、食などの魅力が誘客につながるよう情報発信力の一層の強化に取り組みます。特にターゲットとしては 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えインバウンドに力を入れます。また、宿泊滞在型観光地を目指した取り組みを強化します。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
観光入込客数	109.4 万人	200 万人
宿泊客数	16.6 万人	25 万人
収容人数	2,300 人	3,000 人
外国人入込客数	9,333 人(H26)	50,000 人
外国人宿泊客数	1,428 人(H26)	8,000 人

〇漆器産業との連携、支援

漆の里構想を一層推進していくため、漆に関連するヒト・モノ・仕事・情報における世界一の集積地を目指します。輪島塗のブランド力は高く評価されておりますが、売上は低迷が続いております。したがって、品質管理の強化など、ブランド力の維持強化を図る取り組みを実施しながら、新市場の開拓や後継者育成など特色ある地場産業としての継続を図ります。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
輪島塗生産額	39 億円(H26)	45 億円

〇農林水産業との連携、支援

本市は里山里海の幸に恵まれ、多くの市民が農業と漁業を中心とする農林水産業に従事しています。まだ全国的に知られていない産物も多く、その活用も含めた高付加価値化の取り組みなどにより雇用の場の拡大と安定化を図ります。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
おおぞら・町野町 農業協同組合の売上高	22 億 4,300 万円(H26)	22 億 4,300 万円
石川県漁業協同組合 輪島支所・門前支所の売上高	42 億円(H26)	44 億円
能登森林組合の売上高	9 億 1,800 万円(H26)	9 億 5,000 万円

○多様な就業環境の創出

引き続き企業の誘致に積極的に働きかけるほか、従業員確保など総合的な支援を行います。また、昨年大幅に拡充された「起業」支援策の活用や、「ふるさと納税」制度を財源確保の効果的な取り組みとしてだけでなく、地場産品の売上増加による地域の活性化手法としても着目し取り組みに力を入れます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
新規出店補助金交付数	―	累計 25 件

(3)具体的な施策

施策 1　観光産業との連携、支援

(1)情報発信強化

本市の里山里海の美しさや伝統産業の奥深さ、また食の豊かさなど多様な魅力を全国に向け効果的に情報発信し、本市の認識度を深め誘客に繋がるよう努めます。

内　　容	主担当
①観光 PR の推進	
○インターネット、マスコミ、観光キャンペーン、ブロガー等を通じた PR 活動の推進	観光課
○フィルムコミッション活動の充実によりマスコミ報道による全国的情報発信	

(2)観光客受入体制の整備

外国人観光客に向けた情報発信に努めるとともに、国内外の観光客が快適に市内に滞在できるよう関係団体と連携しながら「おもてなし」のあり方を含めた環境整備に努めます。

内　　容	主担当
①外国人誘客の推進・対応強化	
○昇龍道の活用(海外からのインバウンド)及び龍の目拠点づくり	観光課
②宿泊キャパシティの増大	
○改修再開新設支援補助の創設　(和室・和式トイレから洋室・洋式トイレへの改修等)	観光課

○農家民宿開業の支援推進	農林水産課
③観光案内機能の充実	
○観光サインシステムの整備、ボランティアガイドの活用、ガイドブックの作成	観光課
④アクセス手段の拡大	
○輪島港への大型客船の誘致	都市整備課
○みなとオアシス輪島マリンタウンを核とした地域の活性化	都市整備課
⑤人材の強化	
○外部からの観光コーディネーター募集	観光課
(3) 魅力ある観光地づくり	
本市の豊かな地元食材などの地域資源を活かし、その魅力を十分楽しむことができるような旅行プランや多様な交流体験型プログラムの開発、提供を行うことにより観光客の滞在時間の更なる延長を図る取り組みを強め、宿泊型観光地を目指します。また、それにより、「また来たい」「来てみたい」というリピーター客増加に繋がるよう取り組みを強めます。	
内　　容	主担当
①魅力ある旅行プランの提供	
○能登空港誘客(宿泊)促進	企画課
○飲食、宿泊施設等での地元食材活用推進（和倉温泉と戦略の住み分けで宿泊率向上)	観光課
○飲食店と宿泊施設が連携したおもてなしの推進(素泊まり宿泊施設等)	観光課
②滞在型観光の推進	
○日本遺産等を活かした交流体験型プログラムの開発（キリコ、間垣、千枚田、輪島塗)	観光課
○修学旅行の誘致	観光課
③歴史文化資源を活用した交流創出	
○重要伝統的建造物群保存地区「輪島市黒島地区」の景観保存・修景と新たなビジネスの創出	観光課、文化課
○重要文化的景観「大沢・上大沢の間垣集落景観」の景観保存・修景と新たなビジネスの創出	観光課、文化課

施策２　漆器産業との連携、支援

(1) 伝統産業の産業基盤増強〔生産・品質管理、市場展開〕

漆器産業は言うまでもなく本市の誇る伝統産業であり、長く販売高の減少が続いておりますが、本質的な評価は高いものがあり、東京オリンピック・パラリンピック開催を数年後に控え、国内外から新たに注目されることが期待されます。したがって、生活様式の変化に対応した、新しい商品の開発や高品質保持の取り組みなどを支援します。また、「ふるさと納税」制度を活用した振興策などを関係団体と連携を強めながら取り組みます。

内　　容	主担当
①輪島漆器の新商品開発及び販路拡大	
○産学官連携による商品開発力高度化の推進	漆器商工課
○各種見本市等への参加や海外市場（欧米、アジア等）への進出に向けた支援	漆器商工課
○ふるさと納税返礼商品のラインナップ充実による生産額の増加（地域経済活性化）	企画課
○大型客船の誘致と歓送迎に努め、新たな輪島塗顧客獲得	観光課、漆器商工課
○東京オリンピック・パラリンピック等を見据えた新商品開発支援や要望活動	漆器商工課
○伝統技術を活かした文化財修復等の受注増に向けた展開	漆器商工課
②品質管理の体制の構築	
○品質管理体制(トレーサビリティ)の確立	漆器商工課
③地元産原材料の生産体制の構築	
○漆木の継続的な植栽や木地材料安定供給の体制づくりに向けた支援	農林水産課､漆器商工課

(2) 輪島塗ブランドの発信

「輪島塗」は、地域ブランドに関する民間調査会社の調査でも全国トップクラスの評価を得ています。この輪島塗に対する高い評価を裏切らず、長期的に維持していく取り組みが必要です。したがって、輪島塗と文化をセットにした情報発信など輪島塗への理解を深める取り組みを強めます。

内　　容	主担当
①イメージ戦略の展開	
○海外展開や万博等に向けた輪島塗と日本文化（正月等）のコラボによる魅力発信	漆器商工課
○教科書や海外の書籍への掲載	漆器商工課
○職人または漆作家の工房の集積地をつくる（空き校舎の活用）	企画課、漆器商工課

(3) 担い手育成〔人材の確保・育成〕	
輪島塗は多くの職人の手仕事の集積によって成り立っています。しかし、長期的な販売不振により職人の後継者不足が深刻となっています。したがって、本市に立地する石川県立輪島漆芸技術研修所修了生への定住支援などによる後継者対策を取り組みます。	
内　　容	主担当
①後継者対策支援	
○輪島塗伝承者養成事業の実施	漆器商工課
○石川県輪島漆芸研修所修了生への定住策の推進	企画課、漆器商工課
○若手職人及び作家の作品発表機会の提供	漆器商工課
②漆掻きをはじめとした地元産原材料に係る人材育成	
○漆掻き職人等の育成に対する支援	漆器商工課

施策３　農林水産業との連携、支援

(1) 輪島ブランド産品の確立	
本市は世界農業遺産「能登の里山里海」の中心とも言える地域であり、豊富な農産物を食材にいろいろな食文化が根付いています。また、地勢的にも日本海に突き出た半島の突端にあり、沖合には寒流と暖流が交互し多様な海産物を得る事ができます。このように本市産品をブランド化する潜在的な可能性は高いと考えられます。したがって、新商品開発に一層力を入れるとともに、今まで地元でもほとんど知られていなかった「ふぐ類」漁獲高日本一などの潜在力を活用し、一年中商品化ができるような水産加工品についての取り組みを強める必要があります。	
内　　容	主担当
①奨励作物の選定	
○農産物主産地化支援事業	農林水産課
②高付加価値の新商品開発	
○基金事業等を活用した商品開発と生産基盤整備の支援	農林水産課
○付加価値の高い水産加工品の商品開発の支援	農林水産課

(2) 農林水産業における 6 次産業化の推進

本市の１次産業は農業・漁業の従事者が多く、特化係数においては漁業には多くの市民が従事しております。また同じく基幹産業でもある観光業とも関連が深く、その振興は市全体の活性化に大きな影響があります。しかしながら、１次産業は自然相手の側面が強く、また外浦に面していることから、気象状況などに左右されやすい側面があります。また、本市は大消費地から遠隔であるという弱点があります。したがって、６次産業化を推進し、商品に付加価値を高め市場の期待に応えるとともに、通年の産業化に取り組む必要があります。

※特化係数：国内における地域の特定の産業の相対的な集積度（強み）を示した指標。

例　本市のＡ産業の特化係数＝本市のＡ産業の就業者比率／全国のＡ産業の就業者比率

内　　容	主担当
①生産・流通・販売体制の確立	
○県外での物産展や見本市への出展支援	農林水産課
○農産物直売所の強化促進	農林水産課
○外部からのコーディネーター募集	農林水産課
○6 次産業化のための施設整備への支援	農林水産課
②新産業創出支援	
○農業における新分野開拓への支援	農林水産課

(3) 農林地の多面的利用促進〔土地の再生と有効利用〕

農林地が適切に管理されることは農林業の基盤であるとともに、特に本市においては里山が適切に保全されることは重要です。また、適切な管理は土地の多面的な活用の基盤ともなります。したがって、土地の保全・管理や遊休地情報の一元管理に努めます。

内　　容	主担当
①土地の保全・管理等	
○優良農地の保全及び農地の有効な利活用の促進	農林水産課
②遊休地情報の一元管理	
○農林地、就業意向等の情報を一元管理、土地活用のデータベース化	農林水産課
③施設の長寿命化	
○農道・林道等施設の長寿命化、適切な維持管理に取り組み、安定した生産、流通網の確保	農林水産課

(4) 1 次産業の経営安定化

本市では１次産業が多くの市民の就業の場となっており、その経営基盤の強化とそれによる後継者の育成、確保は極めて重要です。また、近年は１次産業への就業を志す都会からの人の流れもあり、移住定住策の充実とともに、この需要にも適切に対応する取り組み

が必要です。	
内　　容	主担当
①担い手育成、就業構造の再編	
○新規就農者支援、及び、認定農業者、青年農業者、農業生産法人等の育成	農林水産課
○新規就農希望者に対する相談、受け入れ体制の充実（住居提供、斡旋、受入体制強化）	農林水産課
○集落営農組織づくりの推進	農林水産課
②水産資源の保護・育成	
○「つくり育てる漁業」「資源管理型漁業」の推進	農林水産課

施策４　多様な就業環境の創出

(1) 企業誘致の推進

雇用機会の確保対策は、定住人口の減少に歯止めを掛け、地域振興の観点から最も重要な施策で有り、この間、専門の部署を設けて企業誘致活動に取り組んできました。しかし、半島の先端という地理的ハンディもあり、労働力不足という課題に直面しています。今後は、起業支援と併せ進出する企業に対して交付する助成金など支援内容の見直しと優秀な人材の確保対策も含め、総合的に企業誘致の推進を図ります。

内　　容	主担当
①誘致活動の強化、インセンティブの充実	
○積極的な企業誘致活動の継続、企業立地助成金等の支援	漆器商工課
○進出企業へのきめ細やかなフォローアップ体制の構築	漆器商工課
○臨空産業団地の整備促進	漆器商工課

(2) 活力を生む人材の育成と誘致

地域活性化において人材の確保は要とも言えます。多彩な人々が本市において経済活動を行うことは観光誘客の側面からも効果が大きいと言えます。したがって、企業誘致とは異なる観点からの取り組みが必要であり、市内外の人々が起業・新規出店しやすい環境づくりにこれまで以上に力を入れる必要があります。また、既に成果がみられる「地域おこし協力隊」制度を活用し、より多くの隊員の受入による地域のきめ細やかな活性化などに取り組む必要があります。

内　　容	主担当
①起業・新規出店しやすい環境づくり	
○新規出店の支援	漆器商工課
○産業育成支援補助の活用（新商品開発及び販路拡大支援）	漆器商工課
②起業家の育成	

○起業家を呼び込む環境整備	漆器商工課
③地域おこし協力隊の活用	
○地域おこし協力隊員による地域活性化	企画課
(3) ふるさと納税を活用した雇用創出	
「ふるさと納税制度」は地方自治体の財源の確保だけではなく、返礼品に地元特産品を使用しているため、市内経済においても良い効果をもたらし、雇用の創出にも繋がる有効な制度と言えます。今後も更なる返礼品の充実をはじめ、新商品開発及び本市のブランド力を活かした情報発信に努めることによって更なる増額が期待されます。	
内　　容	主 担 当
①新商品開発の支援	
○魅力ある返礼品の充実（新商品開発支援）	企画課、農林水産課、漆器商工課
○情報発信ツール・ターゲットの拡大	企画課

2. 住みたくなるまちづくり

(1)基本目標

○移住者受入体制の充実と地域ブランドの発信

本市はこれまでも移住者の受け入れに力を入れて来ました。近年は豊かな里山里海に囲まれた生活に憧れて、地方への移住希望者も多くなって来ております。

この流れを好機と捉え、受け入れ施策の充実を図るとともに、輪島の地域ブランドを一層発信し、移住希望者に選ばれる地域となる取り組みを強めます。

(2)講ずべき施策に関する基本方向

○移住定住の促進

移住定住の促進を図るためには情報発信とともに移住希望者からの希望をキャッチし、移住へ誘導する施策が必要です。そのためには窓口で相談しやすい体制づくりや活動、また、輪島市に体験的に住んでみる事ができる場所づくりも必要です。より多くの本市への移住希望者が現れ、その移住希望が実現する取り組みに力を入れます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
移住定住住宅の整備	―	17 室
移住イベントへの参加回数	4 回	12 回
空き家データベース登録件数	18 件	50 件
移住者数	20 件（人）／年間	60 件（人）／年間

○選ばれる地域ブランドづくり

全国の多くの自治体が移住定住策に力を入れる中で、その候補地として選ばれるためには住んでみたいと思えるような魅力にあふれる地域であることが必要です。幸い本市は世界農業遺産認定の構成自治体として魅力ある自然景観や伝統文化、また「能登は優しや土までも」と言われるような人々の人情に溢れています。これらは移住希望者を引きつける大切な魅力です。したがって、これらの地域ブランドを大切に守るとともに新しい人材を育て、ブランドの発展を図る取り組みが必要です。

民間調査会社の調査に「地域ブランド調査」というものがあります。その順位の向上につながるよう、多様な取り組みを実施することも重要です。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
地域資源を活用した商品開発	―	10 件
地域リーダー養成講座受講者数	―	50 人
地域リーダー認定者	―	5 人

(3)具体的な施策

施策１　移住定住の促進

(1) 移住定住の促進	
市内の空き家・空き地を利用したサービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、多世代交流施設など移住に繋がる拠点の整備を民間活力との協働により行い、多世代わたる幅広い人々を受け入れ、生涯活躍のまちづくりの実現に取り組みます。 また、拡充が図られた定住促進奨励金や空き家データーベースなど移住に関する事前の情報の提供や相談体制、機会の充実に努めるとともに、移住後も地域に定着できるようフォローを行います。	
内　　容	主担当
①多世代の移住促進	
○漆の里・生涯活躍のまちづくりプロジェクト	企画課
○これからシニアになる世代へ移住を喚起するイベントの開催	企画課、観光課
②移住者受入体制の整備	
○旧輪島合同宿舎を核とした移住拠点の整備（ちょい住み体験）	企画課
○移住相談ワンストップ窓口の設置、移住後の相談機会の提供フォロー	企画課
○空き家データベースの充実、住宅情報の提供	企画課
③定住促進奨励金	
○定住促進奨励金の交付	企画課
④情報発信の強化	
○移住定住セミナーへの参加と移住定住ツアーの実施　（NPO 等が行う活動を支援）	企画課

施策２　選ばれる地域ブランドづくり

(1) 地域ブランドの展開

民間調査会社の調査結果にも記されている伝統工芸に対する高いブランド評価や世界農業遺産「能登の里山里海」の中心地ともいえる多様な資源を活かした商品・サービスの高付加価値化に取り組みます。特に「和食」が世界的に注目されており、輪島には多様な食文化、食材があり、観光の目的、満足度を高める要因としての効果が高いことから、食を最重要課題として取り組みます。また、これまでも様々な面で繋がりのあった大学との連携を活かした若い人材の力も導入します。

内　　容	主担当
①地域ブランドの浸透	
○ブランド化に向けた商品開発、高付加価値化の取組に対する支援	漆器商工課
○ブランド化の牽引役となる地域リーダー等の人材育成（研修会の開催、ネットワークづくり支援）	漆器商工課
②「輪島の食」のブランド化	
○輪島の食ブランドの推進	漆器商工課
③歴史・文化イベントの開催	
○地域資源を活用したイベント等の開催	生涯学習課
④若い力の活用	
○協定を結んだ大学との連携事業推進	企画課

3. 結婚・子育ての希望をかなえる環境づくり

(1)基本目標

○「出会い」から「子育て」「学び」までの一貫した取り組み

今回、市民アンケートにおいて、新たな調査項目とした「結婚願望等」の調査結果においても結婚への願望は高く、出会いの機会不足等が課題としてあらわれております。

幸い本市は、自然環境等についての市民の満足度は高く、また、これまで合計特殊出生率も国県より高く推移しております。本市は本来子育てに適した地域と言えるのではないかと考えます。出生からその後の子育てにわたり、この強みを一層充実させながら、出会いの場の不足などの課題解決に向けた取り組みが必要です。

(2)講ずべき施策に関する基本方向

○結婚・出産の希望を抱き実現できる環境づくり

全国的に非婚化や少子化が起こっていますが、決して結婚や出産を望んでいないわけではないことが明らかになってきました。本市では、出会いの場の提供だけでなく、経済界や地域と協力しながら人生設計に対する市民意識の醸成に取り組みます。さらに、結婚に関する経済的支援にも取り組みます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
出会い創出イベント参加者	男性参加 12 人 (H27)	男性参加 480 人
出会い創出イベント カップル成立数	6 組 (H27)	150 組

○子育てに温かい環境づくり

病児保育をはじめとする保育サービスや地域の子育て支援体制等の充実化、特定不妊治療の経済的負担軽減や放課後児童クラブの利用料金軽減の導入等子育て世帯への経済的支援の強化、在宅障がい児の支援活動の充実、教育水準の向上等を通じて子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境と全ての子どもが健やかに成長できる環境の形成を推進します。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
延長保育実施箇所数	4 ヵ所	6 ヵ所
病児保育実施箇所数	0 ヵ所	1 ヵ所
ハイリスク妊婦・特定妊婦支援率	8%	100%

※ハイリスク妊婦：身体医学的なリスクをもつ妊婦

特定妊婦：社会心理的・精神 医学的リスクをもつ妊婦

〇仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現

男性の育児休業取得率(全国)は 2.30%と全国的に浸透していない状況です。本市では、夫婦が協力して子育てを行うことができるよう、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりを進めます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
ワークライフバランス 応援事業所認定	―	10 件

(3)具体的な施策

施策１　結婚・出産の希望を抱き実現できる環境づくり

(1) 意識の醸成	
行政、経済界や地域等が連携・協力して、個人の結婚の意義を含めた人生設計の大切さを醸成させる取り組みを展開します。ただし、個人の意識は尊重します。	
内　　容	主 担 当
①未婚者に対する意識の醸成	
〇人生設計（ライフデザイン）支援講座	漆器商工課
②経済界・地域等における意識の醸成と結婚支援・後押し	
〇経営者・地域活動団体等に対する講演会	漆器商工課
〇結婚に関するイベント参加に対する理解と推奨	企画課
(2) 出会いの機会創出・後押し	
少子化対策のため、子供を産む前提となる結婚率を高める必要があり、さらにその前提となる男女の交際率を高めるため、結婚を希望する男女に出会いの場を積極的に提供し、その希望がかなうように後押しします。	
内　　容	主 担 当
①婚活イベント	
〇わじ婚の拡大実施	企画課
〇職場から従業員の結婚に関するイベント参加後押し	企画課
(3) 結婚生活支援	
出産や育児により一時的に収入が減るなどの経済的な理由から結婚や出産に踏み切れない男女に対して行政が支援を行います。	
内　　容	主 担 当
①新婚世帯に対する経済的支援	
〇新婚向け家賃補助（所得制限・期限付き）	企画課

施策２　子育てに温かい環境づくり

(1) 子育て環境の整備充実	
関係機関や地域、市民が協力・連携し、地域資源も活用しながら子育てできる環境づくりに取り組むとともに、出生前から就学期に至るまで切れ目なく子どもの成長を見守り支援します。	
内　　容	主担当
①子育てサポート環境の拡充	
○ファミリーサポートセンターの充実	福祉課
○病児保育の充実	福祉課、市立輪島病院
○多様な保育サービスの充実	福祉課
○地域子育て支援センターの機能強化	福祉課
○育児不安の相談・指導、子育てサークルの育成・支援	福祉課、健康推進課
○保健、医療、福祉、教育、警察等の関係機関の連携強化	福祉課、健康推進課、学校教育課、市立輪島病院
○放課後児童クラブの運営の充実	福祉課
○児童の健全な遊び場および児童館の充実	福祉課
○3 世代同居・近居の促進	福祉課
(2) 子育て世帯の負担軽減	
アンケートから子育てに対する経済的支援を望む声が非常に多かったことを踏まえ、将来結婚して家庭を持つ若者や子育て世帯が安心して子どもを産み育てることが出来るよう負担軽減を強化し、子どもの健全な育成を後押しします。	
内　　容	主担当
①子育て世帯に対する経済的支援	
○第三子以降の保育料無料化	福祉課
○放課後児童クラブの利用料金軽減の導入	福祉課
○乳幼児、児童及びひとり親家庭等への医療費援助	福祉課
○チャイルドシートの購入補助	市民課
○遠距離通学支援のためのスクールバス運行や通学費補助	学校教育課
②妊娠出産支援	
○子宝支援助成（不妊治療・不育症治療の経済負担軽減等）	健康推進課
(3) 子どもの健やかな成長支援	
成長段階に対応した心身の健康維持・増進に向けて、保健・医療が連携し、一人ひとりに応じたきめ細かい支援とともに、正しい生活習慣や健康知識を身に付ける学習を推進します。また、障害のある子ども達の個々の能力を伸ばし、健やかな成長を支援する取り組	

みを推進します。	
内　　容	主担当
①障害児・者の自立した生活支援	
○在宅障害児・者の支援活動の充実	福祉課
②母子保健対策の強化	
○妊産婦健診、乳幼児健診、保健指導及び相談の充実	健康推進課
○発達相談の充実	健康推進課
○健全な母性・父性の育成	健康推進課
(4) 学校教育の充実	
輪島市学校教育振興基本計画では～未来を切り拓く、たのもしい子どもの育成～を目指し、知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」を育むため、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組みます。 アンケート調査の結果、優先的に取り組んで欲しい子育て支援策であった「教育水準の向上」にもつなげます。	
内　　容	主担当
①確かな学力の育成	
○補充・発展学習を目的とした土曜授業の実施	学校教育課
○ケーブルテレビ等を活用した「テレビ寺子屋」の実施	学校教育課
○市独自の学力テストの実施及びその分析による授業改善	学校教育課
○市内中学生全員を対象とした英語検定試験団体受験の実施	学校教育課
○ICT を活用した教育の推進	学校教育課
②豊かな心の育成	
○道徳教育の充実と地域への道徳の授業公開	学校教育課
○様々な体験活動を行う機会の充実(職場体験等)	学校教育課
○学校図書館の充実・利用促進に向けた図書館司書等の配置	学校教育課
○いじめや不登校などへの対応と教育相談の充実	学校教育課
③健やかな体の育成	
○地産地消による食育の推進	学校教育課
○スポーツ専門員を活用した学校でのスポーツ支援	生涯学習課
○家庭との連携による基本的生活習慣の確立	学校教育課

施策３　仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現

(1) 夫婦で子育てできる環境づくり	
夫婦が協力して子育てできる制度を推進することで、より充実した子育てができるよう努めます。	
内　　容	主担当
①夫婦での保育時間の確保	
○男性の育児休業を取得しやすい環境づくり	漆器商工課

4. 自然と暮らしを守るまちづくり

(1)基本目標

○「能登の里山里海」との共生を図り、市民が安全・安心に暮らし続ける地域の創造

本市は地域活力の維持という点で大きな課題を抱えております。その課題認識と対策についてはこれまで掲げて来たところです。その結果、今後も市民が安全・安心に暮らし続けて行けることが大切です。

行政だけではカバーしきれない部分については、市民、民間団体等と連携しながら市民生活を支えていく取り組みが必要です。

(2)講ずべき施策に関する基本方向

○自然の恵みの継承

市民の誇るべき財産である里山里海の保全を継続し、また、美しい自然環境を次代へ引き継ぐため循環型木質バイオマス発電をはじめとする再生可能エネルギーの普及にも取り組みます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
森林整備の維持	4億4,300万円(H26)	4億4,300万円
漁場環境の保全による 漁獲高の維持	27億6,000万円(H26)	27億6,000万円

○安全・安心を高める取り組み

市民生活の足となる公共交通機関の維持や、安全な道路の整備推進、災害に対する備えの充実等を通じて、安全・安心なまちづくりを目指します。また、住みよいまちづくりの検討にも取り組みます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
自主防災組織率	68.84%(H27)	100%

○元気に暮らせる環境づくり

今後、ほぼ市民の二人に一人が高齢者となり、さらなる医療需要の増大が予測される中で、医師・看護師の確保をはじめとする地域医療の確保に取り組みます。同時に、住民同士の支え合いによる見守り体制の構築を目指すとともに、民間事業者と連携して地域の高齢者の見守り活動を拡大し重層的な見守りを推進します。また、子どもから高齢者まで健康に過ごせるよう、地域おこし協力隊等を中心としたスポーツの普及・推進に取り組みます。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
輪島病院常勤医師数	17人	20人
地域貢献見守り事業者数	74事業者	100事業者

スポーツ指導回数	300 回	500 回

〇地域コミュニティ活動の活性化

コミュニティ活動の中心的役割を担う人材の育成、及び、市民が行う自発的な活動を支援することにより、魅力・やすらぎのある地域社会の実現を推進します。

主要な数値目標	基準値	KPI(重要業績評価指標)
地域コミュニティ団体数	27 団体	35 団体(H31)
地域コミュニティ参加者数	8,511 人	10,000 人(H31)

(3)具体的な施策

施策１　自然の恵みの継承

(1) 里山里海環境の保全

世界農業遺産に認定された能登が誇る豊かな里山里海を後世にも継承していくため森林・農地の整備や藻場等の保全に取り組みます。

林業の活性化を図るため、間伐をはじめとする造林事業や森林作業道の整備、森林組合が実施する森林整備の啓発・研修・林業に関する研究活動等を支援します。

また、水産環境保全のため、種苗や漁場改善等による増殖を支援するとともに、石川県漁業協同組合が取り組む「浜の活力再生プラン」の推進を支援します。

内　　容	主担当
①森林環境保全	
〇枝打ち、間伐等の森林の保育・管理	農林水産課
〇市民ボランティア、NPO 法人、企業等の多様な主体による広葉樹林の植栽及び育成	農林水産課
〇森林 GIS による材齢期の木材生産性向上と森林の多面的機能増進	農林水産課
〇国土保全、水源かん養その他の森林の多面的機能の維持	農林水産課
②水産環境保全	
〇豊かな藻場づくり支援	農林水産課
〇アワビ、サザエ、ヒラメ等の育成放流事業の推進	農林水産課

(2) 低炭素地域づくりの普及推進

森林整備の際の未利用材の有効利用や遊休地の有効活用することにより、再生可能エネルギーの普及推進をはじめ、環境にやさしい取り組みに努め、低炭素地域づくりの重要性を地方からも発信します。

内　　容	主担当
①再生可能エネルギーの導入推進	
〇間伐材を活用した循環型木質バイオマス発電の推進	農林水産課

○再生可能エネルギーによる発電事業の推進	企画課
○住宅用太陽光システム設置の推進	企画課
○急速充電施設整備による電気自動車の普及推進	企画課

施策２　安全・安心を高める取り組み

(1) 公共交通機関の維持

市民の足として、バスの運行維持や新たな交通手段の導入等、効率的・公正な公共交通の維持を推進します。

内　　容	主担当
①公共交通機関の運行維持	
○民間路線バスの運行維持	企画課
○市営有償運送バス及びコミュニティバスのサービス水準の向上	企画課
○海上輸送の維持	企画課
②新たな公共交通機関の検討	
○電動カート等、新たな交通手段の導入についての検討	企画課
③安全な道路の整備推進	
○安全な道路網の検討、整備推進	土木課
○歩行者・高齢者のためのモビリティの通行空間のあり方の検討	土木課

(2) 自主防災組織の充実

防災士を中心とした自主防災組織の育成・定期的な防災訓練の実施等により、地域が助け合いながら災害に対応できる環境づくりを推進します。

内　　容	主担当
①自主防災組織の充実	
○自主防災組織の育成、強化	防災対策課

(3) 住みよいまちづくりの整備促進

近年、住みよいまちをランキング化したものが注目されていることから、自分が住むまちの「安心度」や「快適度」などが重視されていることがわかります。本市も、市民が安心で快適に暮らせる住みよいまちづくりの形成に向けた取り組みを推進します。

内　　容	主担当
①住みよいまちづくりの整備促進	
○住みよいまちづくりの整備促進	企画課、都市整備課

施策３　元気に暮らせる環境づくり

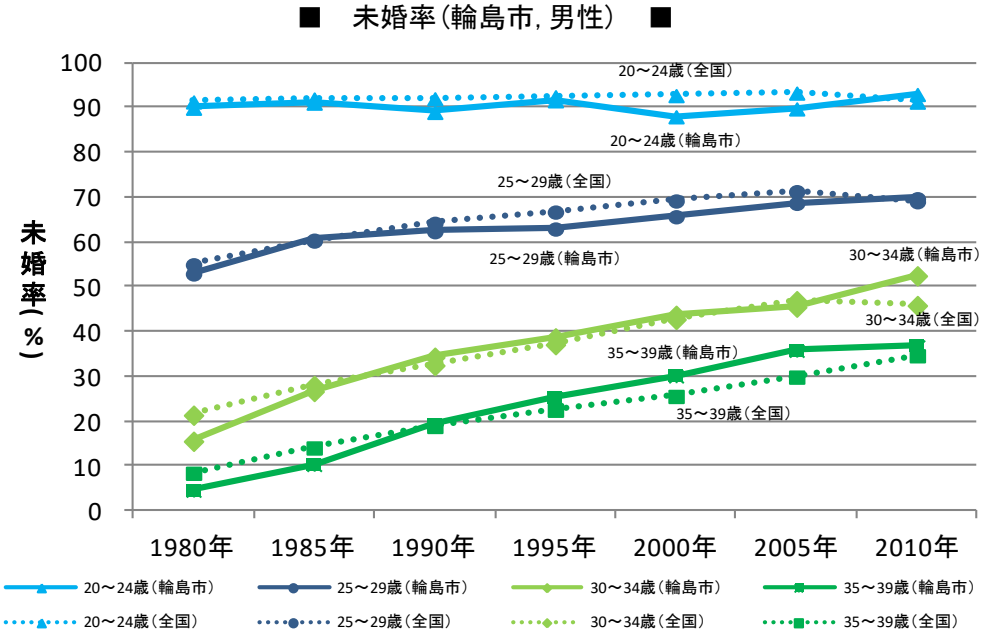
(1) 地域医療の確保	
市立輪島病院は医療需要の変化や、多様化・高度化する医療ニーズに対応し、診療所等との連携を強化する中で、中核病院としての機能と役割を明確化し、市民が安心して医療が受けられる病院を目指します。	
内　　容	主 担 当
①医師・看護師の確保	
○関係医療機関との連携	市立輪島病院
○看護師・薬剤師等奨学金制度の維持	市立輪島病院
②質の高い医療の提供	
○診療科目の充実、高度医療機器の計画的な更新	市立輪島病院、市民課
○救急医療体制の充実	市立輪島病院
○スタッフの質の向上	市立輪島病院
(2) 地域の包括的な支援・サービス提供体制の充実	
地域や民間事業者と連携して重層的な見守り活動を推進します。	
内　　容	主 担 当
①地域見守り活動の充実	
○地域貢献みまもり事業の拡大	健康推進課
○緊急通報システムの周知	健康推進課
○認知症高齢者等ＳＯＳネットワークの構築	健康推進課
○地域福祉推進員活動の強化	健康推進課
○傾聴ボランティア推進員活動の強化	健康推進課
(3) スポーツ活動の推進	
本市では子どもから高齢者まで健やかに暮らせるようにスポーツ活動の推進に取り組みます。	
内　　容	主 担 当
①スポーツ活動の推進	
○地域おこし協力隊等を通じてのスポーツの普及・推進	生涯学習課
○スポーツ専門員を活用した学校でのスポーツ支援（再掲）	生涯学習課

施策４　地域コミュニティ活動の活性化

(1) 地域コミュニティ活動の活性化	
多様化する地域課題への対応にかかわる人材の育成やネットワークづくりを推進し、地域課題を発見、解決する力の向上を図るとともに、地域の活性化に取り組みます。	
内　　容	主 担 当
①地域コミュニティ活動の活性化	
○コミュニティ活動の核となるリーダーの育成	生涯学習課
○市民の自発的なコミュニティ活動への支援	生涯学習課

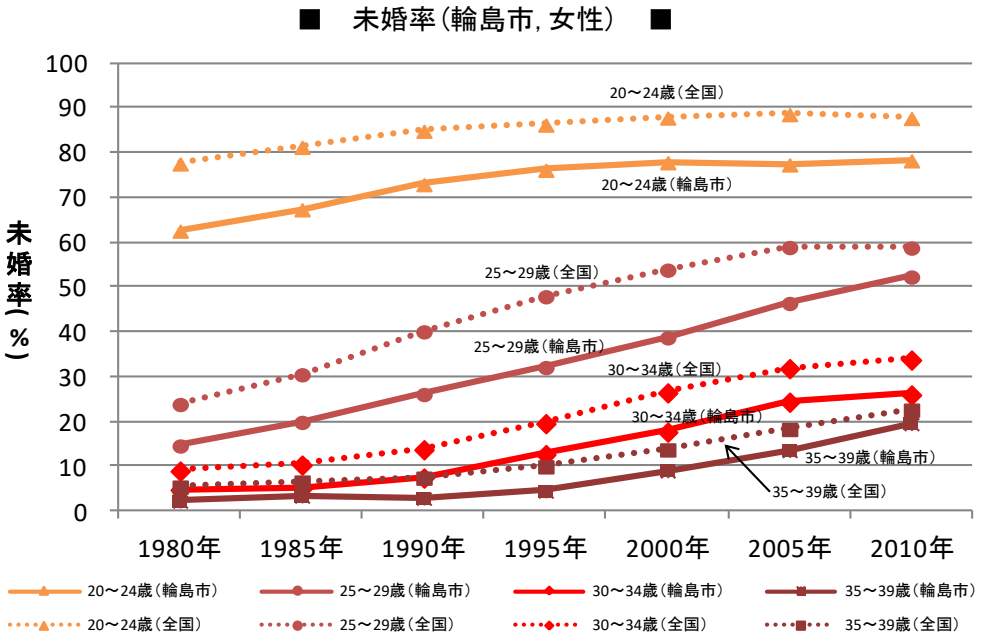
※本市の現況を示す統計データの分析結果

（１）人口動態に関わる統計データ



国勢調査

全国で未婚率の上昇が話題になっていますが、本市においてもその傾向が出ています。男性の 30 歳代の未婚率が 1980（昭和 55）年から 2010（平成 22）年までの 30 年間で 30 ポイント以上上昇しています。

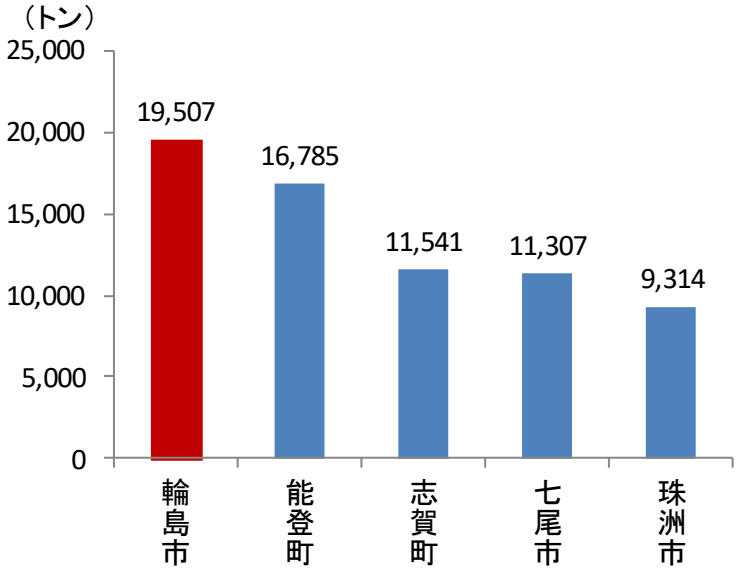


国勢調査

女性の未婚率については、すべての年代で全国より低くなっていますが、全国と同様に上昇する傾向にあり、特に 25～29 歳の上昇が顕著で 40 ポイント近い上昇となっています。

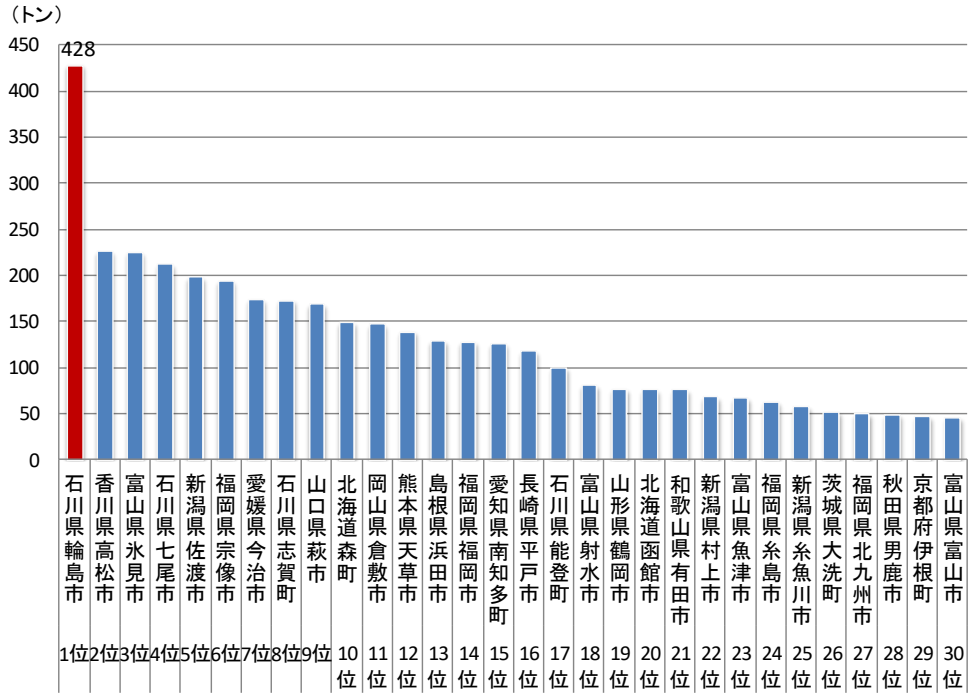
（２）漁業の状況

■　漁獲量計(2013(平成 25)年, 県内上位 5 市町)　■



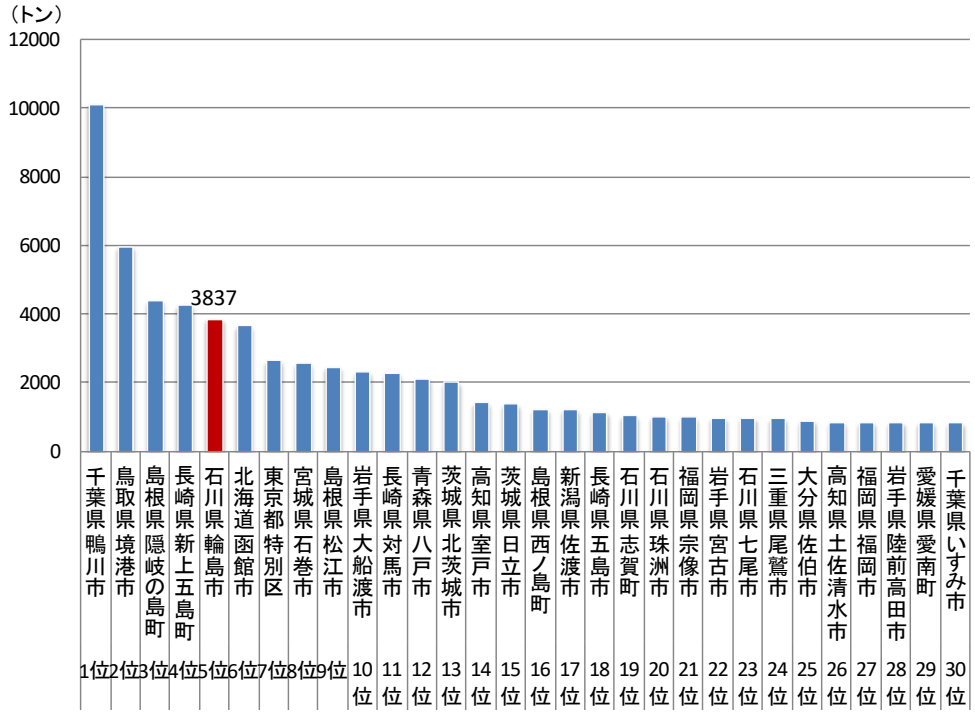
海面漁業生産統計調査

■　漁獲量 ふぐ類(2012(平成 24)年)　■



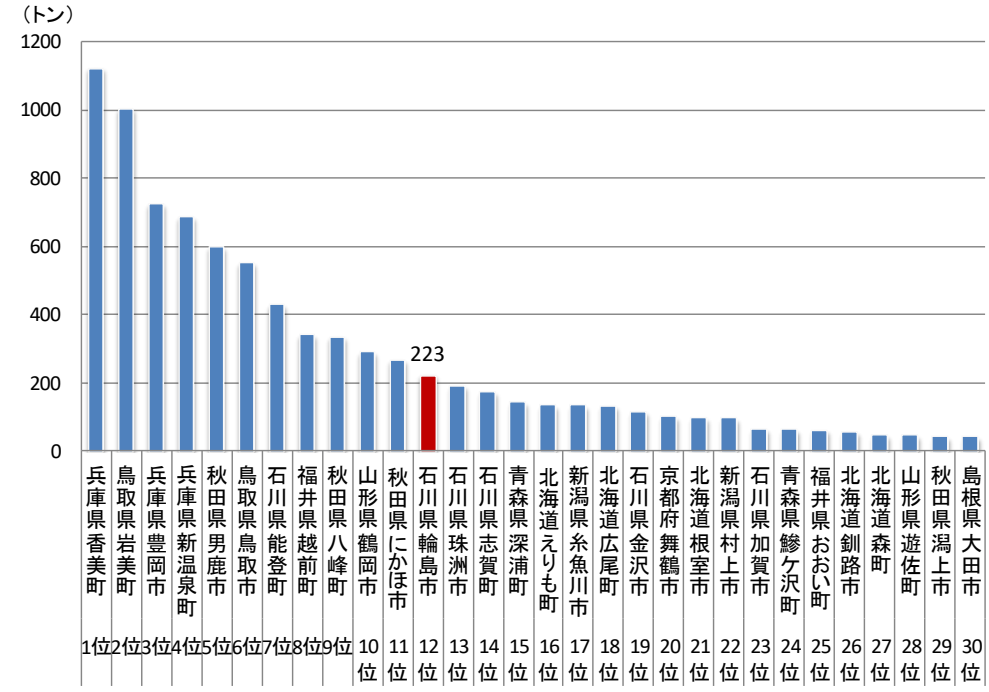
海面漁業生産統計調査

■　漁獲量 ぶり類(2012(平成 24)年)　■



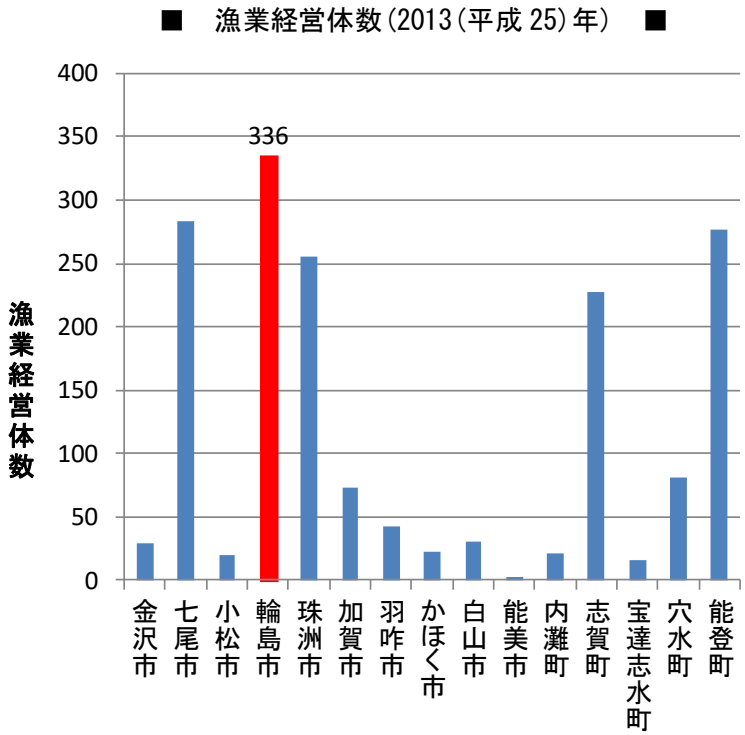
海面漁業生産統計調査

■　漁獲量 はたはた(2012(平成 24)年)　■



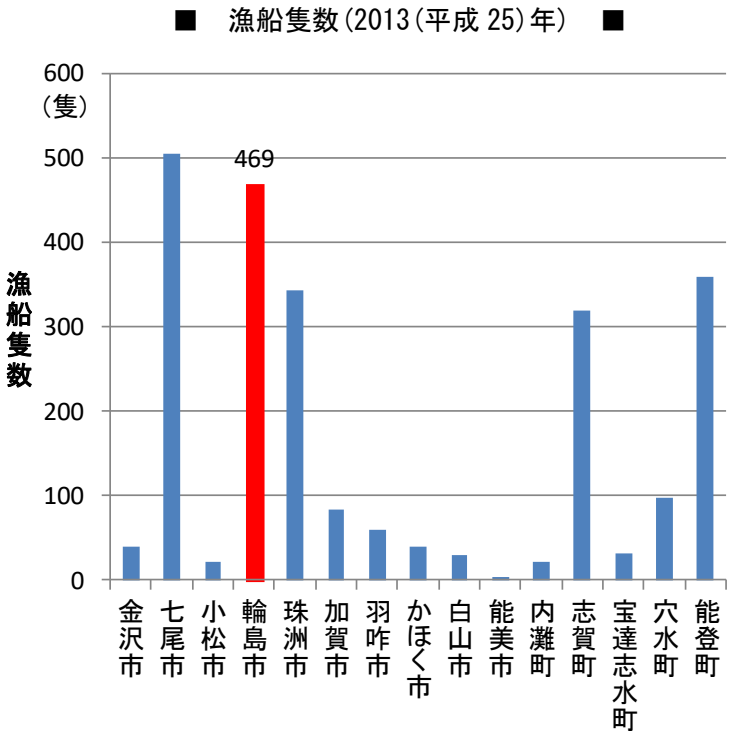
海面漁業生産統計調査

本市の漁獲量は県内で最も多く、ふぐの漁獲量は全国の他の自治体に比べて群を抜いて多いのが特徴です。



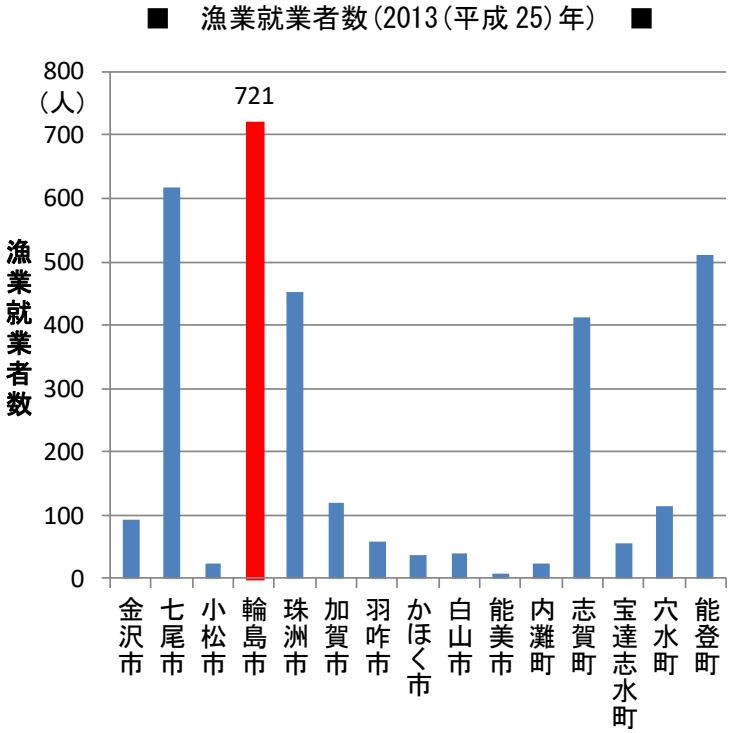
漁業センサス

漁業経営体数は県内で最も多く 336 となっています。



漁業センサス

漁船隻数は県内2番目の多さで469隻となっています。

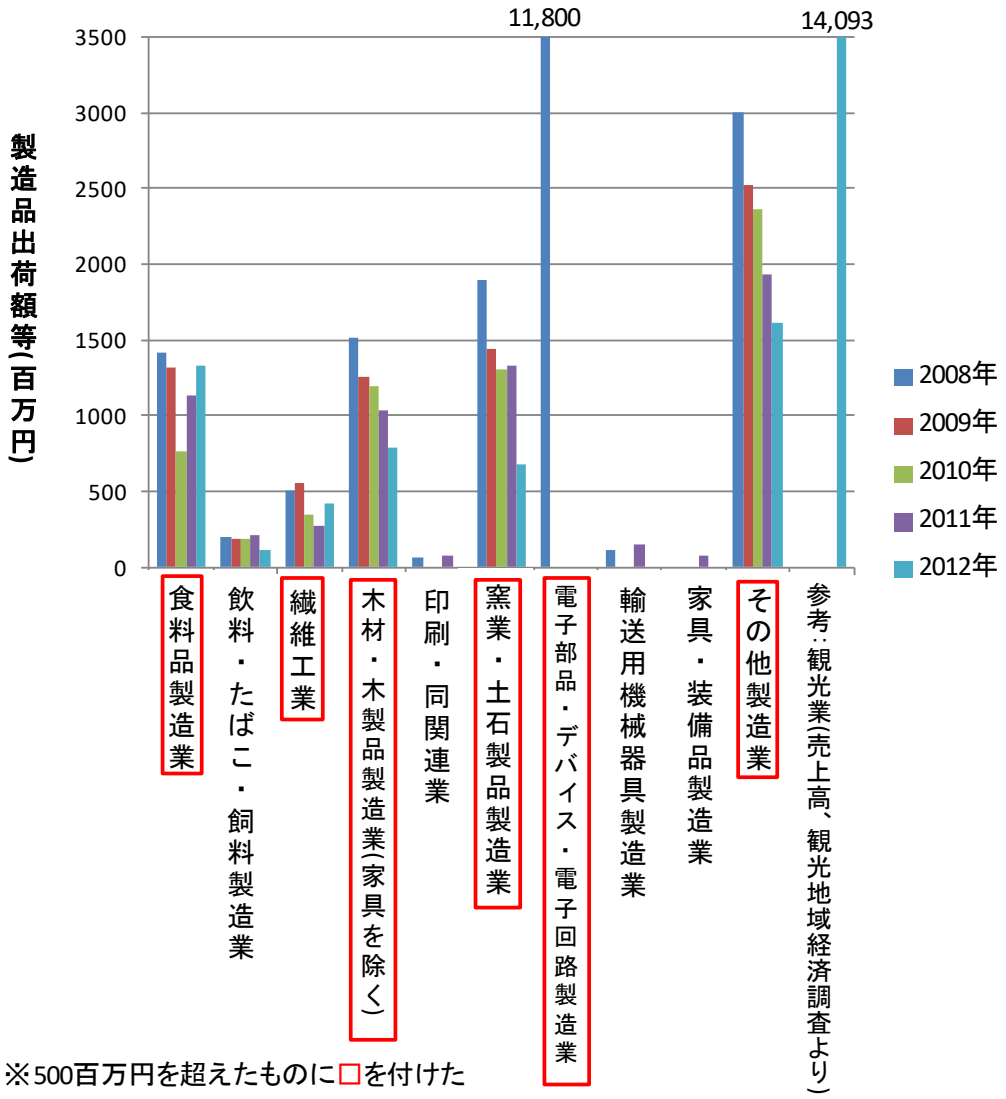


漁業センサス

漁業就業者は県内で最も多く721人となっています。

（３）製造業の状況

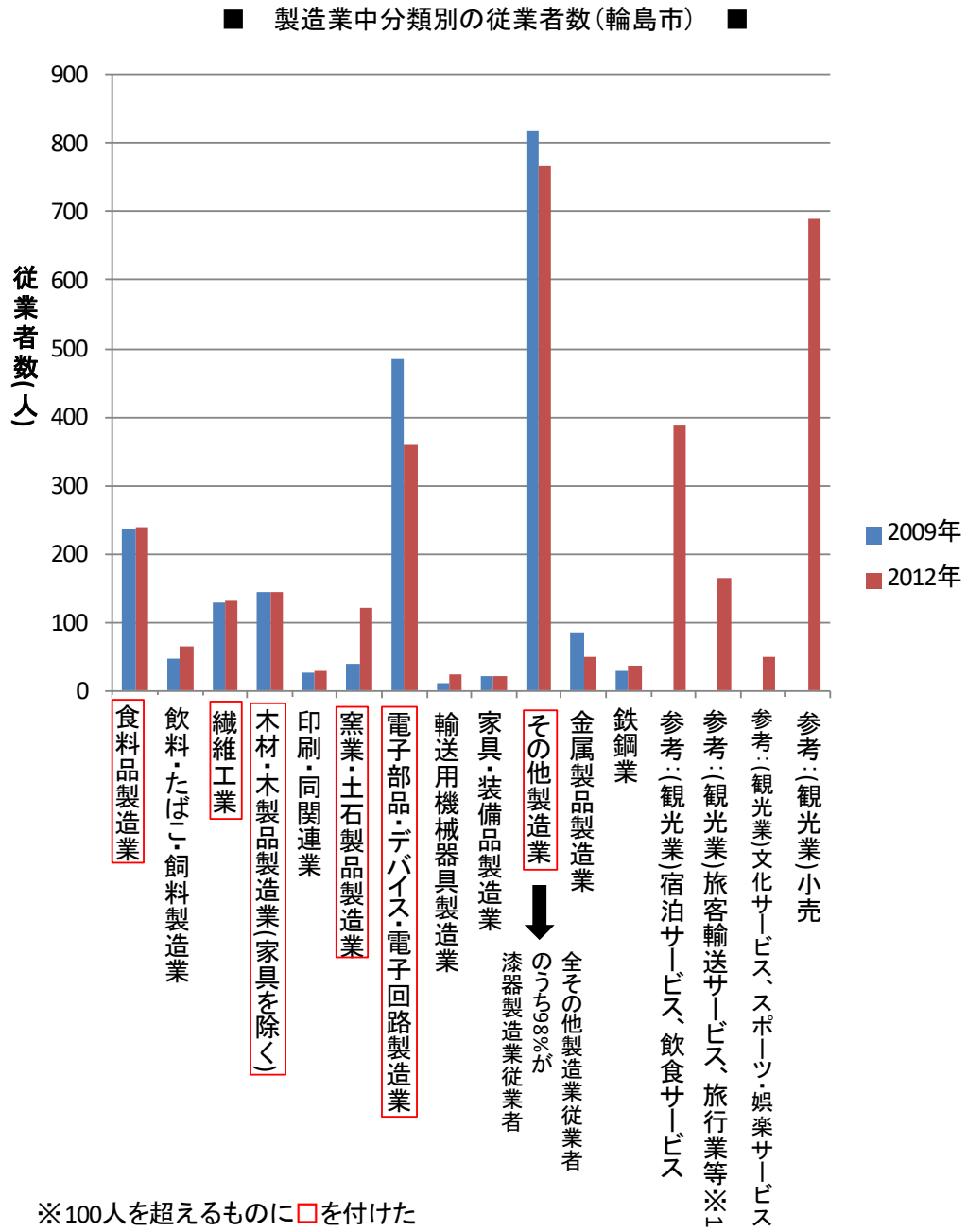
■　製造業中分類別の製造品出荷額等（輪島市）　■



工業統計，観光業のみ観光地域経済調査

※企業数がごく少数の場合秘匿情報となる

製造品出荷額は、多くの製造業で年々減少する傾向が見られます。



※100人を超えるものに□を付けた

事業所・企業統計、経済センサス、参考のものは観光地域経済調査

※1 参考：（観光業）旅客輸送サービス、輸送設備レンタルサービス、旅行業、その他の予約サービス

本市の主要製造業は、前頁の製造品出荷額や上記の従業者数の比較から食料品製造業、繊維工業、木材・木製品製造業（家具を除く）、窯業・土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、その他製造業と考えられます。その他製造業は、従業者数ベースで約 98%が漆器製造業従業者となっています。

（４）輪島塗の状況

■ 地域ブランド調査産品購入意欲度(食品以外)市区町村ランキング(2014(平成 26)年) ■

順位	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
市区町村名	伊万里市	輪島市	今治市	有田町	天童市
特産品※	伊万里焼	輪島塗	タオル	有田焼	将棋駒

ブランド総合研究所

※特産品欄の記載は輪島市調査

■ 地域ブランド調査産品想起率(食品以外)市区町村ランキング(2015(平成 27)年) ■

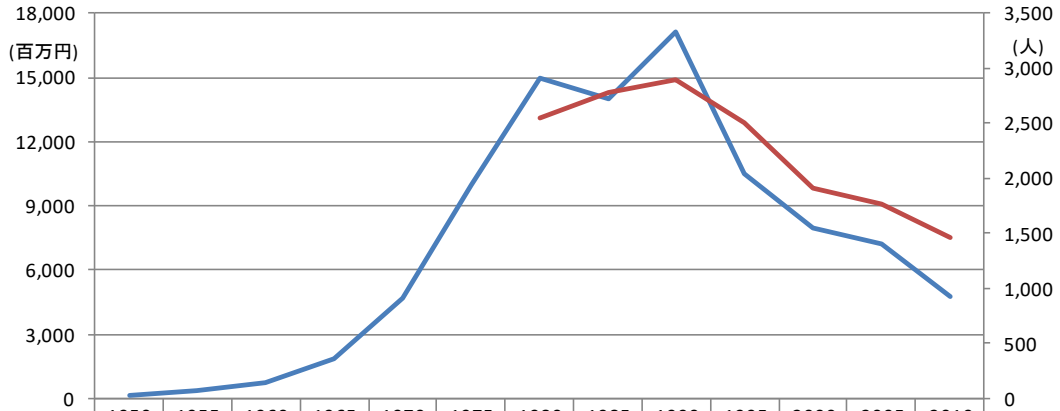
順位	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
市区町村名	今治市	輪島市	伊万里市	有田町	燕市
特産品※	タオル	輪島塗	伊万里焼	有田焼	金属洋食器

ブランド総合研究所

※特産品欄の記載は輪島市調査

民間会社の調査では、産品購入意欲度と産品想起率の非食品分野において輪島市が第 2 位となっております。これは輪島塗の認知度が非常に高いことを示していると考えられます。

■　輪島塗関連事業の生産額と従業者数　■

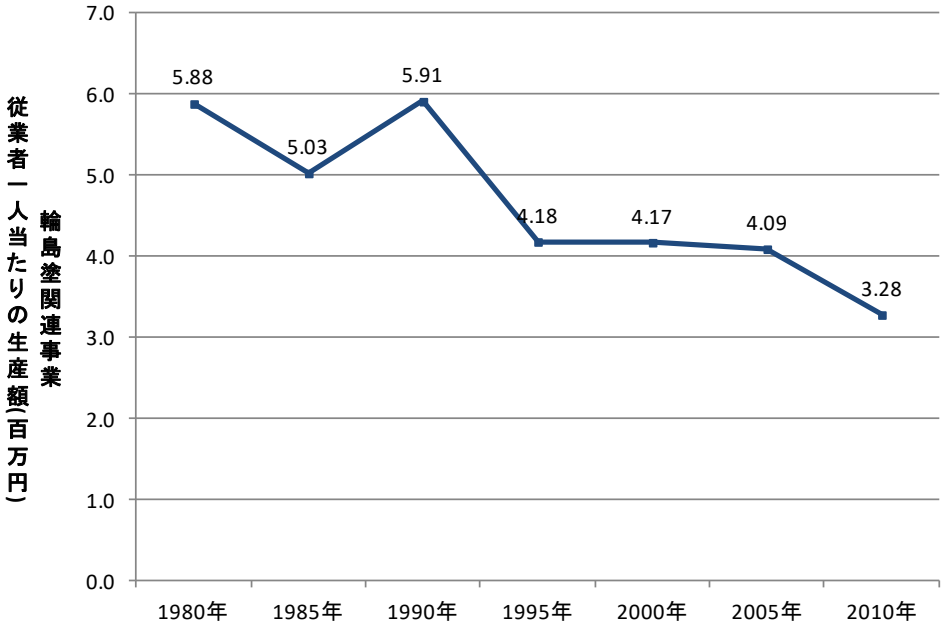


	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
輪島塗生産額(百万円)	157	353	738	1,822	4,679	10,013	15,000	14,000	17,100	10,500	8,000	7,200	4,800
輪島塗従業者数(人)							2,550	2,786	2,893	2,512	1,918	1,760	1,464

輪島市統計書　※空白はデータ無し

本市の基幹産業である輪島塗の動向を見ると、高度成長期からバブル期にかけて生産額は増加傾向でしたが、バブル崩壊によって生産額は減少に転じ、それと同時に従業者数も減少しています。

■　輪島塗関連事業従業者一人当たりの生産額　■

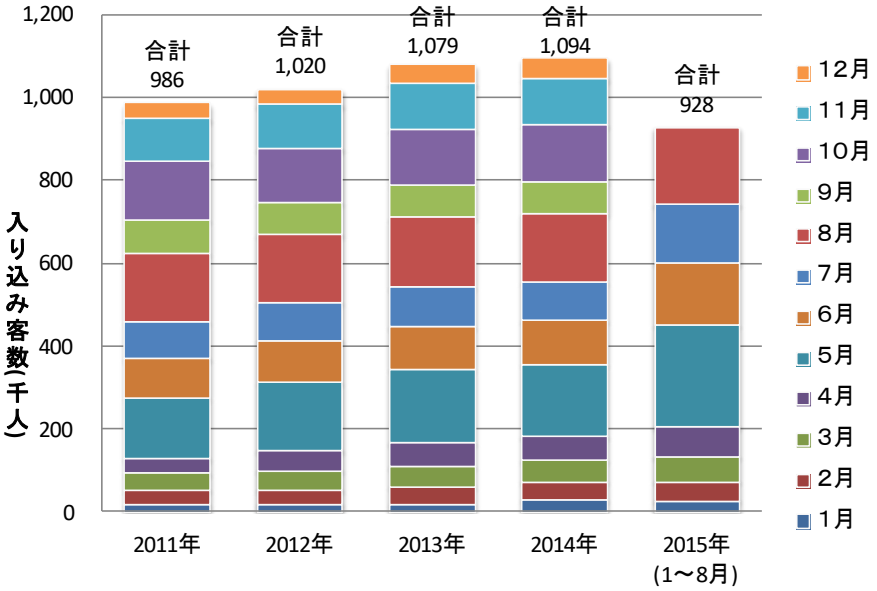


輪島市統計書を基に集計

輪島塗関連事業の従業者一人当たりの生産額もバブル景気をピークに減少しています。2010(平成 22)年では、1990(平成 2)年の約半分にまで落ち込んでいます。

（５）観光産業の状況

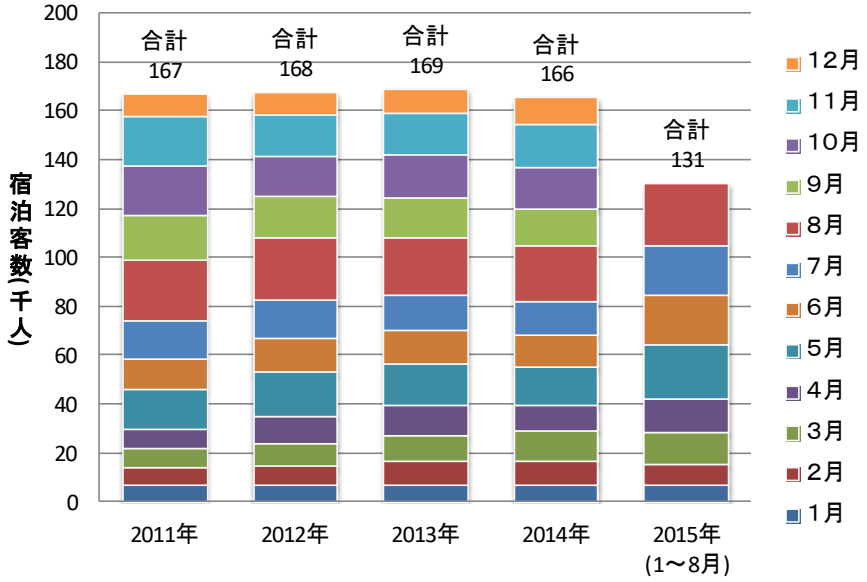
■　入り込み客数（輪島市）　■



輪島市観光協会

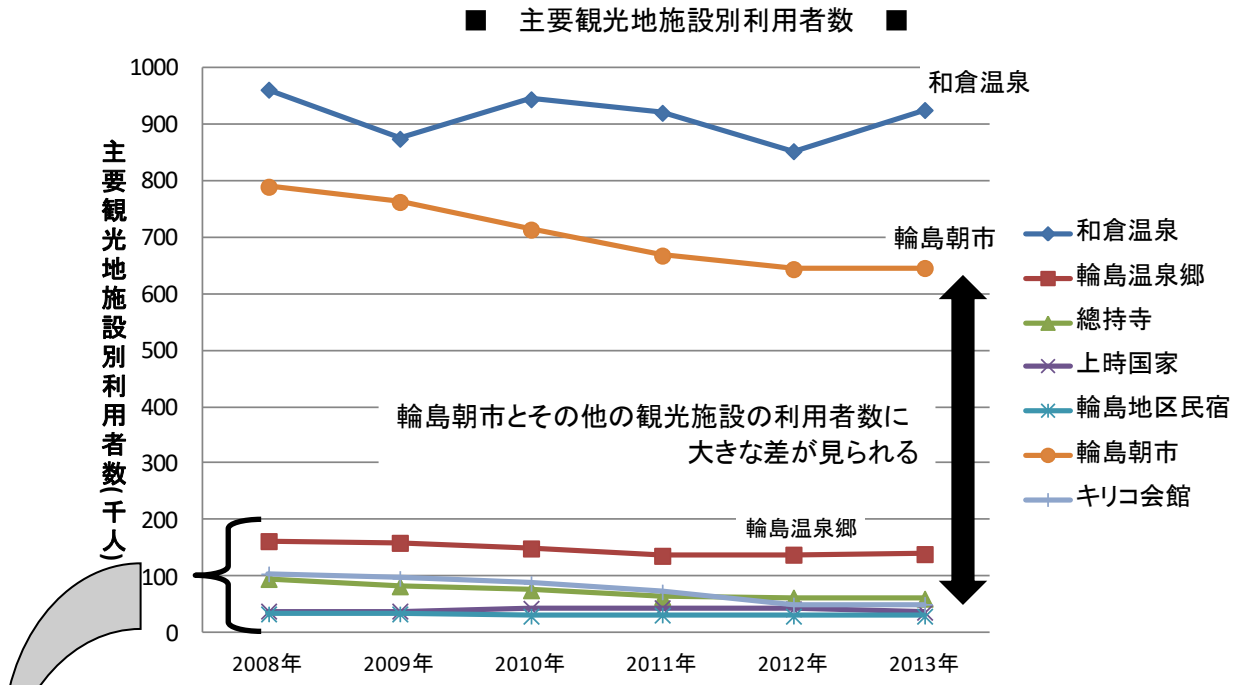
近年の本市の入り込み客数は、前年比 1～6%の間で増加傾向となっています。2015（平成 27）年は 3 月に北陸新幹線が金沢まで延伸したことに加え、本市がドラマの舞台となったこともあり、1 月から 8 月までの累計が前年比 28.9%増となっています。

■　宿泊客数（輪島市）　■



輪島市観光協会

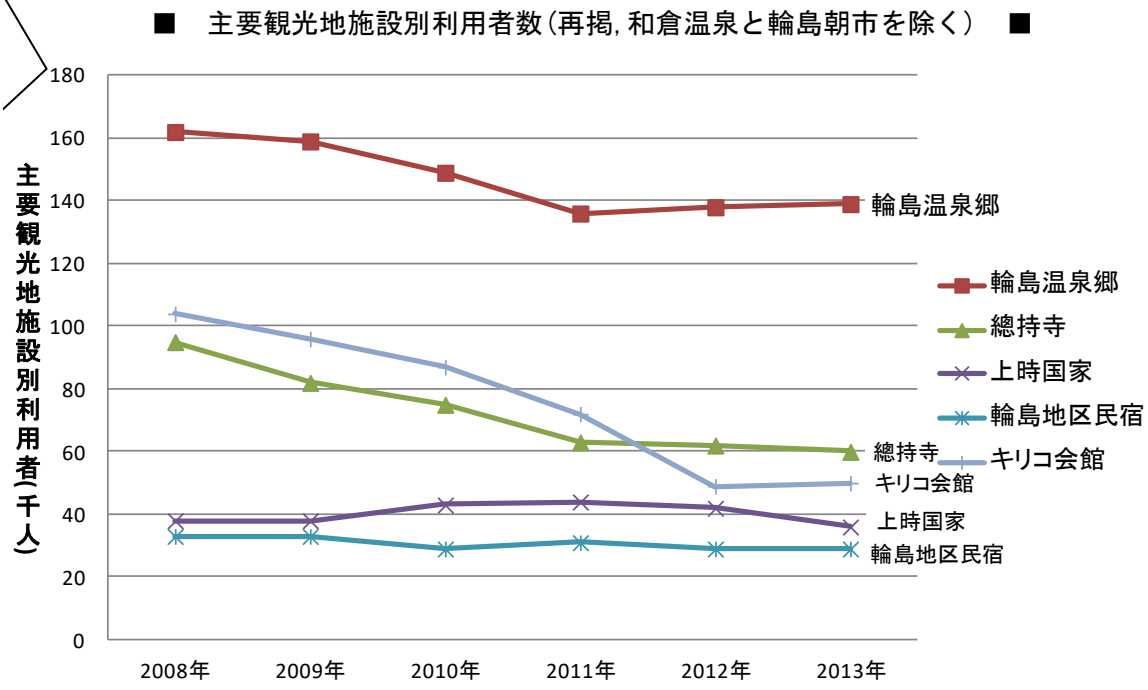
近年の本市の宿泊客数はほぼ横ばいとなっています。2015（平成 27）年は、5 月以降前年を大きく上回り、1 月から 8 月までの累計が前年比 24.7%増となっています。



石川県観光戦略推進部

輪島朝市と市内その他の観光施設との利用者数の差が 50 万人以上となっており観光客が市内全域に回遊していないことが見て取れます。また、輪島朝市自体も 2008(平成 20)年から 2013(平成 25)年にかけて 10 万人以上減少しています。

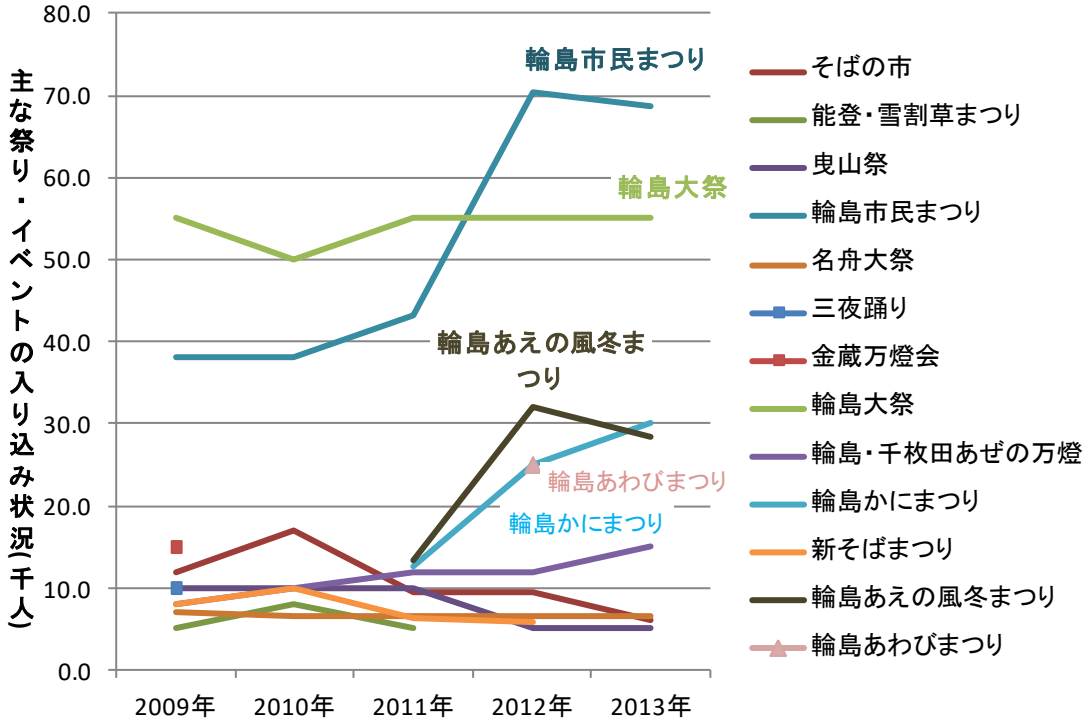
拡大



石川県観光戦略推進部

どの観光施設も全体的に見て減少傾向です。特にキリコ会館の減少幅が大きく、2013(平成 25)年は 2008(平成 20)年に比べ半分以下に落ち込んでいます。

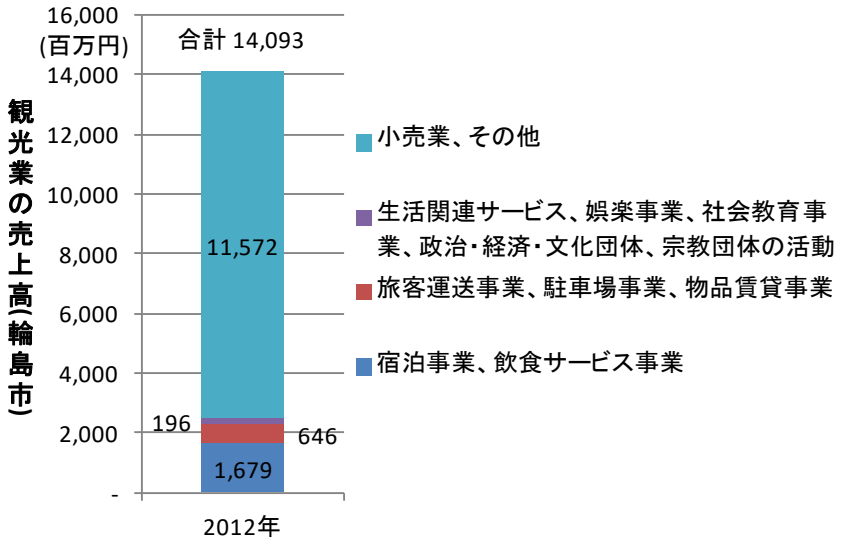
■　主な各祭り・イベントの入り込み状況　■



空白はデータ無し　石川県観光戦略推進部

本市の主な祭り・イベントの入り込み状況を見ると、輪島市民まつり・輪島あえの風冬まつり・輪島かにまつりで急激に入り込み客数が増加しています。

■　観光業の売上高（輪島市）　■

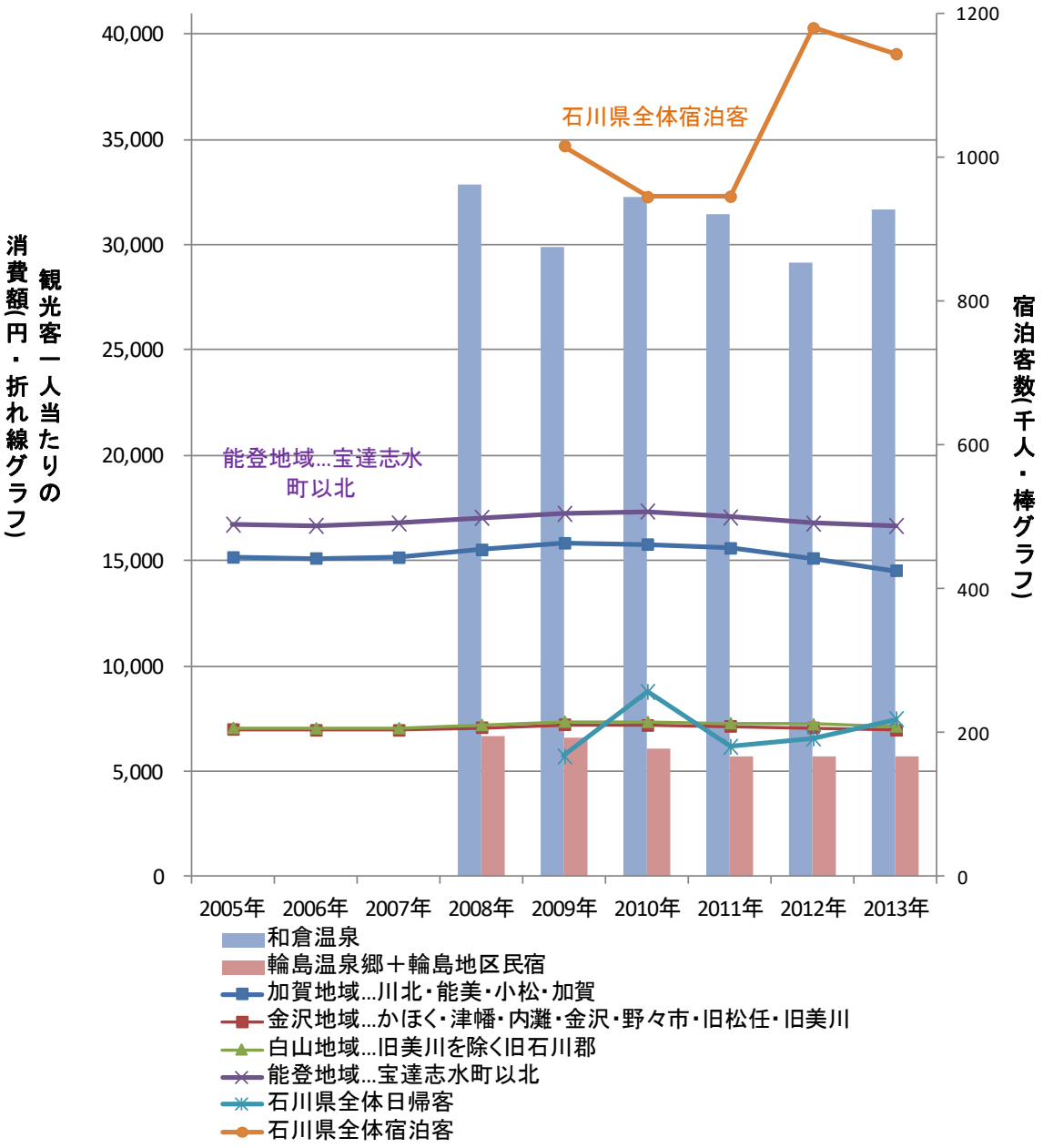


観光地域経済調査（2012（平成 24）年より開始）

河井地区・鳳至地区・海士地区・輪島崎地区・大屋地区が輪島市として調査対象となっている。

本市の観光業の売上高は、約 141 億円となっています。その内訳は、小売業、その他が最も大きくなっており、82%を占めています。

■　観光客一人当たりの消費額（折れ線グラフ）と宿泊客数（棒グラフ）　■

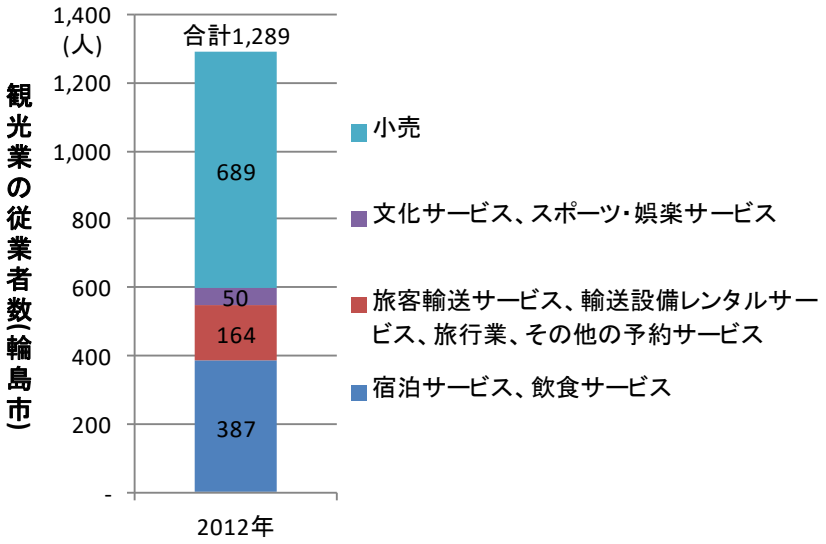


石川県観光戦略推進部

各地域の観光客一人当たりの消費額は観光消費額（推計）を観光入込客数で除して算出

能登地域（宝達志水町以北）の観光客一人当たりの観光消費額は、県内他地域より高くなっています。その要因は、宿泊者割合の高さにあると考えられます。しかしながら、輪島市内で宿泊する観光客（輪島温泉郷＋輪島地区民宿）は、和倉温泉で宿泊する観光客の４分の１程度となっています。

■　観光業の従業者数（輪島市）　■

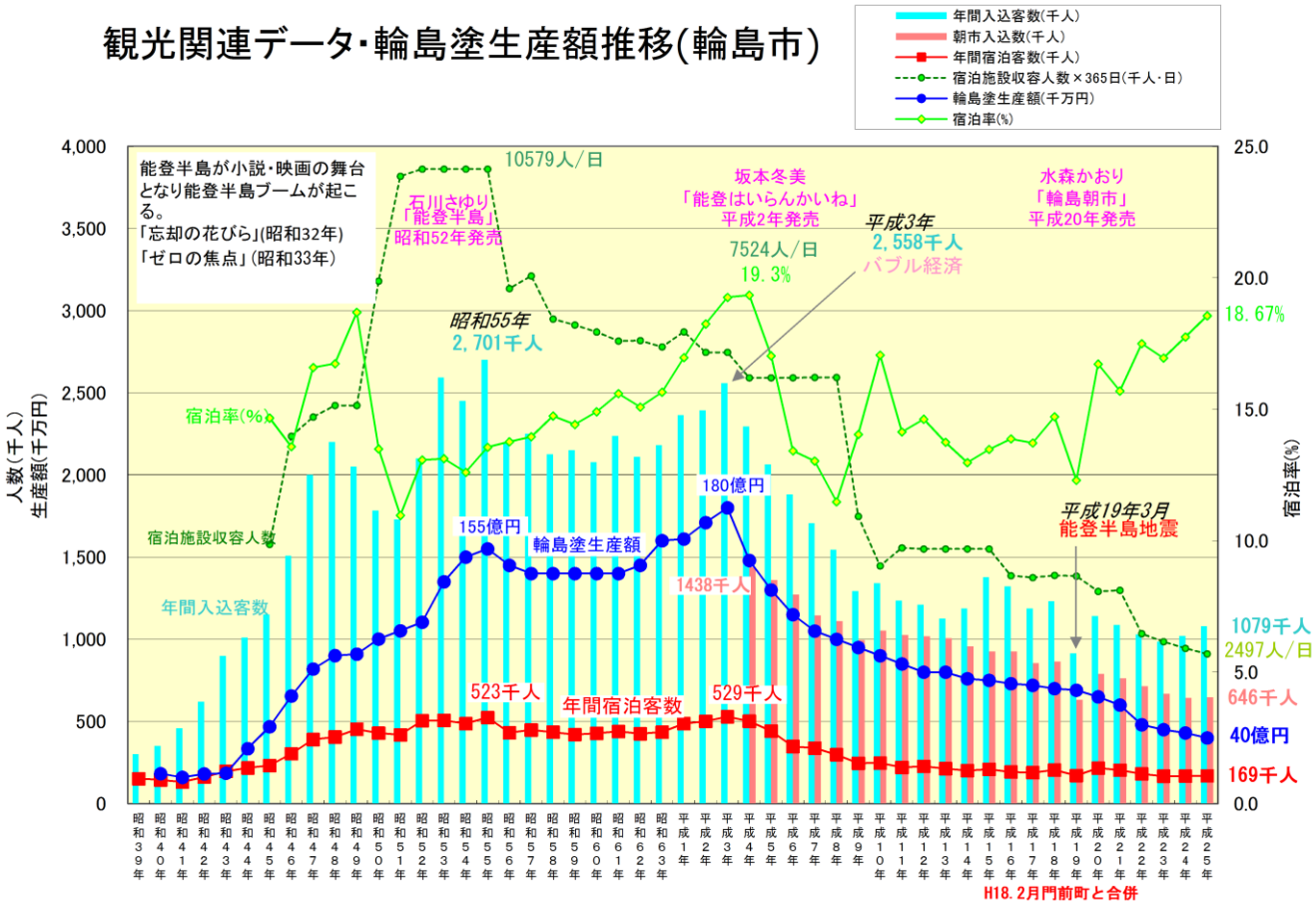


観光地域経済調査（2012（平成 24）年より開始）

河井地区・鳳至地区・海士地区・輪島崎地区・大屋地区が輪島市として調査対象となっている。

小売が最も従業者数が多く、全体の 53%を占めています。

■　観光関連データ・輪島塗生産額の推移（輪島市）　■



長期的な視点で本市の年間入込客数と輪島塗生産額を見ると、強い相関関係があることが見て取れます。

※市の（観光）資源の概要

【３つの里（郷）構想】

＜漆の里＞

○輪島塗

漆を使う工芸品である漆器は、日本が世界に誇るものの一つです。特に輪島塗は 100 を超える手数で作られ、その堅牢さと華やかさで知られており、全国で唯一、漆芸で重要無形文化財に指定されています（保持団体認定)。近年は、普段使いのものや斬新なデザインの製品も作られています。

漆関連施設としては、輪島工房長屋（輪島塗の一部が体験できる)、輪島塗会館（平成 27 年 3 月にリニューアルオープンし、輪島塗資料展示室や市内漆器専門店が共同出店する店舗を有する。)、石川県立輪島漆芸技術研修所（重要無形文化財保持者（人間国宝）の技術伝承者育成事業等を行う)、石川県輪島漆芸美術館（漆芸専門の美術館）などがあります。

＜禅の里＞

○總持寺祖院（輪島市門前町門前）

かつては永平寺と並ぶ曹洞宗の大本山でした。全国に一万八千余の末寺を数えるほどの隆盛を極めましたが、明治 31 年に七堂伽藍の大部分を焼失し、横浜市鶴見に布教伝道の中心を移しました。再建後も風光幽玄な大本山の面影をしのばせ、祖院として現在に至っています。多くの伽藍が登録有形文化財、石川県及び輪島市指定文化財に指定されています。

＜平家の郷＞

○上時国家・時國家（輪島市町野町南時国）

上時国家は時國家とともに「平家にあらずんば人にあらず」の言葉で知られる、平大納言時忠を始祖としています。

どちらも重要文化財（建造物：国指定）となっており、加賀百万石の太守が能登巡見の折に宿泊し、「余は中納言である故にこの部屋に入るわけにはゆかぬ」として入室をためらったと伝えられている通称「大納言の間」と言われる部屋が上時国家にあります。

○白米千枚田（しろよねせんまいだ、輪島市白米町）

1004 枚の小さな田が重なるように海岸まで続いています。昔ながらの農法が現在も行われており、まさに“日本農業の聖地”と言えます。世界農業遺産「能登の里山里海」の象徴的な景観であり、日本の棚田百選に認定され、国の名勝に指定されています。現在は、オーナー制度を導入し、たくさんの人々によってこの美しい景観が守られています。

〇千枚田あぜのきらめき（輪島市白米町）

米づくりを終えた千枚田のあぜに２万１千個のソーラーLED を並べ、夜の千枚田を桃色と黄金色の２色交互に輝く光景はとても幻想的です。

里山を活かし、太陽光のエネルギーだけで輝くイルミネーションイベントは再生可能エネルギーのすばらしさを発信します。

○輪島大祭

輪島大祭は、平成 27 年 4 月に日本遺産に認定された「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」の１つで、8 月の祭り当日は総輪島塗に施されたキリコが街中をところ狭しと乱舞します。その迫力に辺りはまるで別世界のような興奮に包まれます。また 3 月には輪島キリコ会館が移転オープンし、通年を通してキリコ祭りの雰囲気を楽しむことができます。

○輪島朝市

輪島朝市は一千年以上前に物々交換から始まりました。360m ほどの通称朝市通りに、里山里海の幸をならべた 200 以上の露店が軒を連ね、活気があふれています。この朝市通りには輪島出身の漫画家永井豪氏の記念館などもあります。

○重要文化的景観「大沢・上大沢の間垣集落景観」（輪島市大沢町・上大沢町）

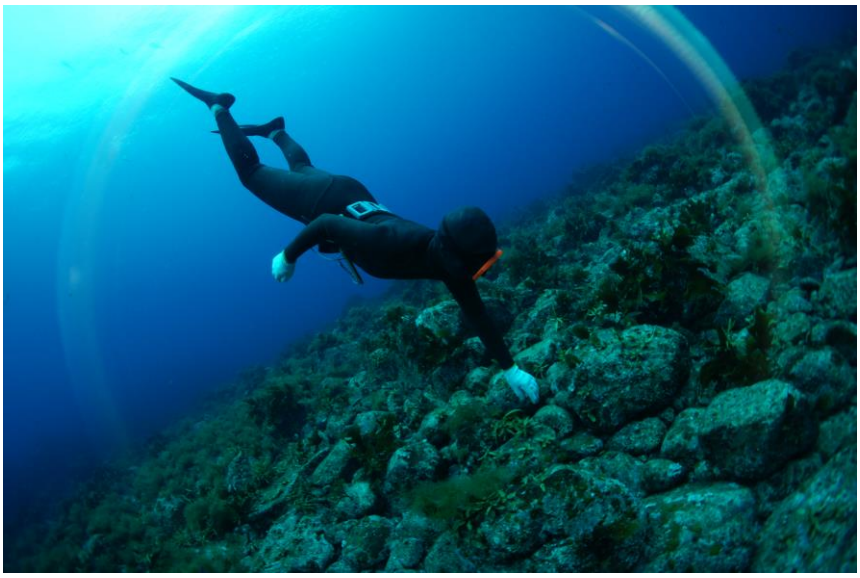
間垣は、目の前に広がる日本海から吹く潮風から家屋を守るために長さ約 4 メートルのニガ竹という細い竹を隙間なく並べた垣根のことを指します。写真に示されている大沢町は平成 27 年度前期ＮＨＫ連続テレビ小説「まれ」のメインロケ地となりました。

「大沢・上大沢の間垣集落景観」として、国の重要文化的景観に選定されています。

〇奥能登のあえのこと

あえのことは、12 月と 2 月に稲の生育と豊作を約束してくれる田の神を祀る農耕儀礼であり、「奥能登のあえのこと」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。

○輪島の海女漁



輪島市の北方沖合約 48km に位置する周囲約 5km の離島「舳倉島（へぐらじま）」を中心に海女漁が古くから盛んに行われています。一地域の人数としては国内でもっとも多い約 200 人が漁を続けています。

「輪島の海女による伝統的素潜り漁技術」は、石川県の無形民俗文化財に指定され、併せて、その貴重な技術を継承する海女は、「いしかわ里海の至宝」にも認定されています。

○重要伝統的建造物群保存地区「輪島市黒島地区」（輪島市門前町黒島町）

北前船で栄え、天領の集落であった黒島地区は、江戸時代当時の町割がよく残っており、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

その町並みは、「黒瓦」「格子」「下見板張り」という共通要素によって、統一感のある美しい景観を保っています。

○御陣乗太鼓（輪島市名舟町）

樹の皮で作られた面に海藻の頭髪という奇怪な様相で、序・破・急の三段で打ち鳴らされる太鼓は人々の心に強く食い込んできます。その由来は戦国年間の天正 4 年（1576 年）、越後の上杉謙信の奥能登侵攻にまで遡ります。

石川県指定無形文化財に指定されています。

※本市が行っている主な起業・移住定住・子育て支援策

起業・新たな出店を応援します

① ●起業・新規出店支援事業　最大360万円を支援

支援を受けられる方

市内金融機関から３年以上の融資を受けて、市内で「小売店、飲食店、宿泊施設、製造業」などのお店を新たに始める方。

支　援　の　内　容

①店舗の開設費用を支援
　上限額３００万円（対象経費の１／２又は金融機関からの借入額のいずれか少ない額）
②借入金の利息を支援（開業から3年間）
　上限額（1年間）２０万円
　　起業・新規出店のための市内金融機関からの借入金利息の１／２

補助の対象経費

①お店の建設費　②お店の改修費　③必要な備品の購入費
④必要な備品のリース料　⑤開業当初に必要な消耗品・広告宣伝費

② ●遊休施設利用促進事業　最大65万円を支援

支援を受けられる方

空き店舗、空き家、空き地、土蔵等の遊休施設を活用し、新たに開業する方。

支　援　の　内　容

①空き店舗等の整備費を支援	上限額３０万円	対象経費の１／４
②店舗賃貸料または遊休施設購入費を支援	上限額３０万円	対象経費の１／４
③広告宣伝費を支援	上限額５万円	対象経費の１／４

（起業・新規出店支援事業、遊休施設利用促進事業の2つの支援は重複して受けることはできません。）

さらに!

市内で事業を営む方の新商品の研究開発も支援しています。
輪島の地域資源を活用し、産業発展につながる新商品の「研究開発費」、「販売促進費」、「生産拡大に必要な経費」を支援しています。

①新商品の研究開発費を支援	対象経費の１/２（上限２００万円）
②開発した新商品の販売促進費を支援	対象経費の１/３（上限１００万円）
③開発した新商品でお店を開くとき支援	対象経費の１/２（上限３００万円）

※②、③は①の支援（補助金の選択）を受けられた方のみが利用できます。

移住・定住を応援します

●支援を受けられる方

移 住 者（Iターン者）

18 歳以上、60 歳未満の方のうち、輪島市に住民登録を一度もしたことがない方で、転入後、1年以内に就業し、就業から1年が経過した方。

定 住 者（Uターン者）

30 歳以上、60 歳未満の方のうち、輪島市に 10 年以上の住民登録期間があり、市外に 10 年以上居住していた方で、転入後、1年以内に就業し、就業から1年が経過した方。

●支援の内容

●移住・定住奨励金

３０万円（家族のある場合、2人目20万円、3人目から１人あたり１０万円を加算）

●住宅賃貸支援

家賃の１/２（上限１か月当たり2万円　12か月支援）

●住宅確保支援

新　　築……購入価格の１/10　上限７０万円、地元産材使用で３０万円加算
中古購入……購入価格の１/10　上限５０万円、地元産材使用で１０万円加算（※増築した場合のみ）
中古改修……改修費用の１/２　（上限５０万円）
（中古改修の対象は、輪島市空き家データベース登録住宅に限る。住宅賃貸支援と併用の場合は、支援額を控除します。）

●その他の支援制度

●輪島市空き家データベース

移住・定住希望者にインターネットを通じ市内空き家の情報を公開しています。
〈アドレス〉http://www.city.wajima.ishikawa.jp/akiya/

●白米千枚田オーナー権を贈呈

移住者に対して希望により本市の世界農業遺産のシンボル白米千枚田のオーナー会員権（１年間）を進呈

子育て支援制度

●子どもの医療費助成

０歳児～中学生の入院・通院費用（保険適用分）全額助成
（市内医療機関等は窓口無料、その他の医療機関は償還払い）

●第３子の保育料無料

同一世帯で満18歳以下（高校卒業まで）の児童を３人以上養育している世帯の３人目以降の保育料無料

●子宝支援助成

子供を産むことを望むご夫婦に、不妊治療等に係る検査費や診療費の一部を助成します。

●一般不妊・不育症治療助成

保険適用分　：対象経費の５割（上限５万円／年）
保険適用外分：対象経費の８割（一般不妊治療の上限　70万円／年、不育症治療の上限　30万円／年）

●特定不妊治療助成

保険適用分　：対象経費の５割（上限５万円／年）
保険適用外分：対象経費の７割（上限60万円／年）

●その他の支援制度

- **出産育児一時金支給**（第１子：45万円、第２子：50万円、第３子以降55万円）
- **チャイルドシート購入費助成**（１／２、上限１万円）
- **出産記念品贈呈**
- **妊産婦検診助成**
- **病後児保育など**

※輪島市創生総合戦略推進審議会条例

（平成 27 年 3 月 17 日条例第 3 号）

（設置）

第 1 条　まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）第 10 条第 1 項の規定に基づき、輪島市創生総合戦略（次条第 1 号及び第 2 号において「総合戦略」という。）を定め、その推進を図るため、輪島市創生総合戦略推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第 2 条　審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議を行い、その結果を市長に答申する。

(1)　総合戦略の策定及び推進に関すること。

(2)　総合戦略の推進における効果及び検証に関すること。

（組織）

第 3 条　審議会は、委員 20 人以内で組織する。

2　審議会の委員は、学識経験のある者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。

（委員の任期）

第 4 条　委員の任期は、市長が必要な期間を定めて委嘱する。

2　補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第 5 条　審議会に、会長及び副会長 1 人を置き、会長は委員の互選により、副会長は会長の指名により定めるものとする。

2　会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第 6 条　審議会は、会長が招集する。ただし、会長及び副会長がともにないときは、市長が招集する。

2　審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3　審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（関係者の出席）

第 7 条　会長は、必要に応じて審議会の会議に関係者の出席を要請し、意見若しくは説明を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができる。

（庶務）

第 8 条　審議会の庶務は、交流政策部企画課において処理する。

（委任）

第 9 条　この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附　則

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

※輪島市創生総合戦略推進審議会委員名簿

団　体　名	役　職	氏　名
輪島商工会議所	会　頭	里 谷　光 弘 ◎
金沢大学大学院	教　授	神 谷　浩 夫
門前町商工会	会　長	沢 田　　隆
石川県観光連盟 輪島市観光協会	副理事長 相談役	谷 口　和 守
能登森林組合輪島支所	支所長	髙　　一 郎
おおぞら農業協同組合	代表理事組合長	山 﨑　一 盛
石川県漁業協同組合輪島支所	支所運営委員長	冨 島　明 怡
輪島漆器商工業協同組合	理事長	日 南　尚 之
輪島市社会福祉協議会	会　長	上 畠　忠 雄
輪島市婦人団体協議会	会　長	横 地　紀代栄
連合石川能登地域協議会	事務局長	竹 園　　歓
輪島市区長会長会	会　長	元 井　孝 司 ○
一般社団法人　輪島青年会議所	理事長	上 田　剛 志
輪島公共職業安定所	所　長	勝 田　敏 明
輪島市銀行会　幹事銀行	北陸銀行輪島支店長	金 川　智 久

※◎会長　○副会長